

平成24年

鹿児島県の観光の動向

～鹿児島県観光統計～



平成25年10月



鹿児島県観光交流局観光課

目次

「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の見方 P 3

■ 平成 24 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(概要)

- 1 延べ宿泊者数・延べ日帰り客数 P 10
- 2 外国人延べ宿泊者数 P 10
- 3 観光消費額 P 11

■ 平成 24 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(詳細)

- 1 宿泊者数
 - (1) 月別延べ宿泊者数 P 14
 - (2) 発地別県外延べ宿泊者数 P 15
 - (3) 交通機関別県外延べ宿泊者数 P 16
 - (4) 外国人延べ宿泊者数 P 17
- 2 日帰り客数
 - (1) 四半期別延べ日帰り客数 P 19
- 3 観光消費額
 - (1) 四半期別観光消費額 P 20
- 4 地区別の動向
 - (1) 地区別延べ宿泊者数 P 21
 - (2) 地区別延べ日帰り客数 P 31
 - (3) 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数 P 32
 - (4) 地区別外国人延べ宿泊者数 P 33

■ 参考資料

- 1 全国における宿泊者の動向
 - (1) 月別延べ宿泊者数(平成 24 年) P 36
 - (2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成 24 年) P 36
 - (3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成 24 年) P 36
- 2 九州における宿泊者の動向
 - (1) 九州各県別延べ宿泊者数 P 37
 - (2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数 P 38
- 3 鹿児島県観光動向調査
 - (1) 地域別延べ宿泊客数 P 39
 - (2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数 P 40
 - (3) 旅行形態別延べ宿泊客数 P 41
 - (4) 月別旅行形態の動向 P 42
- 4 教育旅行の受入状況
 - (1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況(推移) P 43
 - (2) 月別の教育旅行の受入状況(平成 23 年～24 年) P 43
 - (3) 県内地区別の教育旅行の受入状況(平成 23 年～24 年) P 44
 - (4) 学校種別の構成比(平成 24 年) P 44
- 5 スポーツ合宿の受入状況
 - (1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況(推移) P 45
 - (2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況(平成 23 年度～24 年度) P 45

(3) 団体区分（カテゴリー）の状況	P 4 6
(4) 発地別の状況	P 4 6
(5) 交通手段の状況	P 4 7
(6) 競技種目の状況	P 4 7
6 国際観光船受入状況	
(1) 全国におけるクルーズ船の寄港状況	P 4 8
(2) 鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況	P 4 9
7 九州新幹線の利用状況	P 5 0
8 鹿児島における宿泊形態	P 5 0

鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～の見方

この「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」は、平成24年（1月～12月）1年間の宿泊者（延べ宿泊者数）、日帰り客（延べ日帰り客数）及び外国人宿泊者（外国人延べ宿泊者数）の動向等について、「宿泊旅行統計」（観光庁）※注1、「観光入込客統計」（観光庁）※注2、「鹿児島県観光動向調査」（鹿児島県）※注3の統計結果や、県内各市町村、関係機関等の御協力を得て実施した観光地点入込状況、交通機関利用状況等の調査をとりまとめたものである。

※ 注1 「宿泊旅行統計」（観光庁）

（1）調査の目的

宿泊旅行統計調査は、我が国の宿泊旅行の実態を全国規模で把握することを目的とする。

（2）調査の対象

日本国内において宿泊業を営む、ホテル、旅館、簡易宿所、会社、団体の宿泊所などの全宿泊施設である。

なお、事業所母集団データベース（総務省）をもとに観光庁で補正を加えた母集団名簿により調査を行った。

【鹿児島県内の対象施設数】※平成24年12月時点

鹿児島県内の対象施設数	1,196施設
従業員数10人以上の宿泊施設数	233施設
従業員数9人以下の宿泊施設数	963施設

（3）調査の時期

四半期毎

（4）抽出方法

調査対象施設の抽出については以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所：全数調査
- 従業者数5人～9人の事業所：1/3を無作為に抽出するサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所：1/9を無作為に抽出するサンプル調査

（5）主な調査事項

- 各月の延べ・実宿泊者数及び外国人延べ・実宿泊者数
- 各月の延べ宿泊者数の居住地別内訳（県内、県外の別）
- 各月の外国人延べ宿泊者数の国籍別内訳

（6）調査の方法

調査は、観光庁から調査対象施設へ調査票を配布し、報告者（調査対象施設）が自ら調査票に記入し返送する方法で実施した。

また、調査の実施、審査・集計等については民間に委託して実施した。

(7) 結果の推定方法

調査の未回収分については、調査結果に施設所在地（47区分）×従業者数（5区分）の層ごとに母集団施設数に対する回収施設の逆数（母集団施設／回収施設数）を乗じて合算した。

なお、平成23年の調査を通じて1年間、標本の総和が1,000人泊（人）以上になる結果表セルにおいて50%以上のシェアを占める標本については、別途層を設け、乗率 $N_h/n_h=1$ とした。

以上より、統計の推定値は次の式で表される。

$$G = \sum_h \frac{N_h}{n_h} \sum_i X_{hi}$$

G：総計（延べ宿泊者数等）の推定値

X_{hi}：第h層の第i番目の施設の調査結果（延べ宿泊者数等）

n_h：第h層の標本（回収）施設数

N_h：第h層の母集団施設数

また、四半期毎（1月～3月調査、4月～6月調査、7月～9月調査、10月～12月調査）の調査結果を、平成25年1月1日時点で把握した平成24年中の調査対象施設の開業、廃業等施設数を反映させ、各月毎の調査対象施設数により、遡及して推計し直した。

(8) 用語の解説

「宿泊施設」

旅館業法に基づく営業許可を得ているホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの施設をいう。

「従業者数」

従業者とは、当該宿泊施設で働いているすべての人をいう（実人員数）。派遣労働者、在籍出向など出向元に籍がありながら当該施設に来て働いている人、下請けとして他の会社など別経営の事業所から来て働いている人を含む。なお、宿泊施設以外の施設（遊園地、ゴルフ場、スキー場、プール等）を併設している場合で、会計上も宿泊施設営業と他の事業に分けている場合は宿泊施設営業に従事している人のみとした。

「延べ宿泊者数」

延べ宿泊者数とは、各月における宿泊者（寝具を使用して施設を利用するもの。子供や乳児を含む。）の延べ人数をいう。

「外国人延べ宿泊者数」

外国人延べ宿泊者数とは、各月における外国人（日本国内に住所を有しないもの）の宿泊者の延べ人数をいう。ただし、日本国内の住所の有無による回答が困難な施設は、日本の国籍を有しないものを外国人宿泊者として回答しても差し支えないこととした。

※ 注2 「観光入込客統計」(観光庁)

(1) 調査の目的

観光庁では、地域間で観光に関する現状や動向を全国的に比較できるようにしつつ、観光振興に資するため、平成21年12月に観光入込客に関する統一的な把握のための「共通基準」を策定した。

本県では、平成22年4月から当該基準を導入した調査を実施し、結果を観光庁に報告している。

(2) 調査の時期

四半期毎

(3) 調査体系

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

①観光地点等入込客数調査(全数調査)

県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査する。

②観光地点パラメータ調査(サンプル調査)

県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査する。

③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

(4) 集計・公表する項目

- 観光地点を訪れた観光入込客数
- 観光地点を訪れた観光入込客一人当たりの平均消費額
- 観光地点を訪れた観光入込客の総消費額

(5) 用語の解説

「観光地点」

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設等を意味し、次に掲げる要件を全て満たすものを集計の対象としている。

- ① 非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点
- ② 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③ 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

「観光入込客」

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者。本基準では観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客としている。

※ 注3 「鹿児島県観光動向調査」(鹿児島県)

(1) 調査の目的

本県では最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、一般の各観光関係者のビジネスや効果的な事業展開等広く民間の活用に資するため、平成19年4月から県内の主要宿泊施設、観光施設等を対象として、宿泊の入込状況についてアンケート調査を実施している。

(2) 調査の時期

毎月

(3) 調査の対象

- ① ホテル・旅館 87施設
- ② 観光施設 18施設
- ③ ドライブイン 5施設

※平成24年12月時点

(4) 調査方法及び留意事項

毎月、対象施設に調査票を送付し、調査結果を取りまとめている。
調査対象施設については、新たに建設されたものなどを追加している。

(5) 主な調査事項

〈宿泊施設〉

- 延べ宿泊客数(全宿泊客数, 外国人宿泊客数)
- 宿泊形態(団体, 個人旅行の別)
- 発地別宿泊客数 等

〈観光施設・ドライブイン〉

- 入場者, 来場者数 等

(6) 「発地別県外延べ宿泊者数」の発地区分内訳

地区	該当都道府県等			
北海道	北海道			
東北	青森 秋田	岩手 山形	宮城	福島
関東	茨城 千葉	栃木 東京	群馬 神奈川	埼玉 山梨
北陸	新潟	福井	富山	石川
中部	静岡	愛知	岐阜	長野
関西	滋賀 兵庫	京都 三重	大阪 和歌山	奈良
中国	鳥取 山口	島根	岡山	広島
四国	徳島	香川	愛媛	高知
九州	福岡 大分	佐賀 宮崎	長崎	熊本
沖縄	沖縄			
国外	日本以外の全ての国			

1 地区別延べ宿泊者数の推定の方法

地区別の宿泊者数については、県が観光庁から宿泊旅行統計調査の調査票情報（鹿児島県内の宿泊施設分）の提供を受け、施設所在地区別に推定を行った。

「地区別延べ宿泊者数」等の施設所在地区別の内訳

地区名	該当市町村			
鹿児島地区	鹿児島市			
指宿地区	指宿市			
霧島地区	霧島市			
北薩地区	阿久根市 長島町	薩摩川内市	出水市	さつま町
大隅地区	鹿屋市 大崎町 肝付町	垂水市 東串良町	曾於市 錦江町	志布志市 南大隅町
種子島地区	西之表市	中種子町	南種子町	
屋久島地区	屋久島町			
奄美地区	奄美市 龍郷町 伊仙町	大和村 喜界町 和泊町	宇検村 徳之島町 知名町	瀬戸内町 天城町 与論町
その他地区	枕崎市 南九州市 三島村	日置市 伊佐市 十島村	いちき串木野市 始良市	南さつま市 湧水町

2 地区別延べ日帰り客数の推定の方法

地区別の日帰り客数については、県が観光庁に報告する調査票情報を用いて施設所在地区別に推定を行った。

※施設所在地区別の内訳については上表と同じ

3 日帰り客の延べ人数の推定の方法

日帰り客数について観光庁は、観光地点を訪れた観光入込客数（延べ人数）を平均訪問地点数で割った、観光入込客数（実人数）で公表しているが、本統計においては、平均訪問地点数で割る前の延べ人数を用いた。

※「延べ人数」と「実人数」の違い

「実人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回分と数えることとなる。

「延べ人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の3つの観光地点を訪れたとしたら、3回分と数えることとなる。

4 発地別県外延べ宿泊者数について

発地別県外延べ宿泊者数については、「鹿児島県観光動向調査」のデータを用いた。

5 交通機関別県外延べ宿泊者数について

観光庁「宿泊旅行統計」の県外延べ宿泊者数をベースとして、鉄道、バス、航空、船舶事業者及び高速道路事業者の協力により得られたデータをもとに、県が交通機関別に推定を行った。

平成 24 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(概要)

平成24年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の概要

- ・「延べ宿泊者数」は6,871千人で、前年比1.1%の増加
- ・「延べ日帰り客数」は13,346千人で、前年比2.5%の減少
- ・「延べ宿泊者数」と「延べ日帰り客数」の合計は20,217千人で、前年比1.3%の減少
- ・「外国人延べ宿泊者数」は170,570人で、前年比83.6%の増加
- ・「観光消費額」は1,269億円で、前年比9.5%の増加

1 延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】・延べ日帰り客数【出典：観光庁「観光入込客統計」】

- 平成24年の鹿児島県内の宿泊施設の延べ宿泊者数は6,870,930人で、前年比1.1%の増加となった。これは九州新幹線全線開業効果は開業2年目に入り、落ち着いてきたものの、前年の新燃岳噴火の影響等による宿泊者数の落ち込みの反動や鹿児島—台北線の就航により台湾からのツアー客が増加したことなどが考えられる。
- 平成24年の鹿児島県内の観光地点における観光目的の日帰り客数は13,346,000人で、前年比2.5%の減少となった。これは、前年の東日本大震災の影響による自粛ムードが解消され、東京スカイツリーの開業やLCC（Low Cost Carrier, 格安航空会社）の就航等もあり、県内日帰り客が県外へ流出したことなどが考えられる。

	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
延べ宿泊者数 (1～12月分)	6,870,930		6,795,810		1.1%	
	4,753,990	1,990,650	4,747,660	1,990,550	0.1%	0.01%
延べ日帰り客数 (1～12月分)	13,346,000		13,691,000		▲ 2.5%	
	3,342,000	10,004,000	2,754,000	10,937,000	21.4%	▲ 8.5%
合計	20,216,930		20,486,810		▲ 1.3%	
	8,095,990	11,994,650	7,501,660	12,927,550	7.9%	▲ 7.2%

※居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

2 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

- 平成24年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は170,570人であり、前年比83.6%の増加となった。

これは、3月の鹿児島—台北線就航により台湾からのツアー客が大幅に増加したことや前年の東日本大震災の影響により宿泊客数が大きく落ち込んだことの反動などが考えられる。

外国人延べ宿泊者数	前年比(増減率)
170,570	83.6%

※ 全宿泊施設が調査対象

国籍別外国人延べ宿泊者数 (構成比)	前年比(増減率)
韓国	45,370 (32.8%) 27.7%
台湾	45,240 (32.8%) 209.2%
中国	10,820 (7.8%) 57.0%
香港	9,920 (7.2%) 102.4%
米国	6,170 (4.5%) 51.6%
シンガポール	3,230 (2.3%) 84.6%
タイ	980 (0.7%) 42.0%
その他	15,210 (11.0%) 8.5%
合計 (平成23年)	138,120 (85,280)

※ 従業者数10人以上の施設が調査対象

※ 合計には国籍(出身地)不詳を含むため内訳とは一致しない。

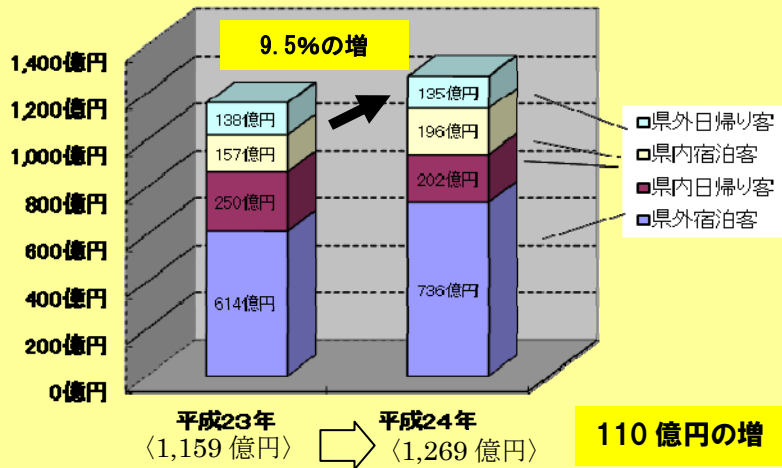
3 観光消費額【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 観光目的の観光入込客の観光消費額は126,880百万円で、9.5%の増加となった。

		(百万円)					
		平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
宿泊		93,214		77,063		21.0%	
	県外	73,579	19,635	61,364	15,699	19.9%	25.1%
	県内	19,635	61,364	15,699	61,364		
日帰り		33,666		38,803		▲ 13.2%	
	県外	13,478	20,188	13,823	24,980	▲ 2.5%	▲ 19.2%
	県内	20,188	13,823	24,980	13,823		
合計		126,880		115,866		9.5%	
	県外	87,057	39,823	75,187	40,679	15.8%	▲ 2.1%
	県内	39,823	75,187	40,679	75,187		

		【参考 観光消費額単価】 (円)			
		平成24年		平成23年	
宿泊		29,615		29,357	
	県外	33,964	20,012	32,938	20,602
	県内	20,012	32,938	20,602	32,938
日帰り		3,336		3,595	
	県外	5,732	2,608	7,337	2,803
	県内	2,608	7,337	2,803	7,337

■ 観光消費額の前年との比較



平成 24 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(詳細)

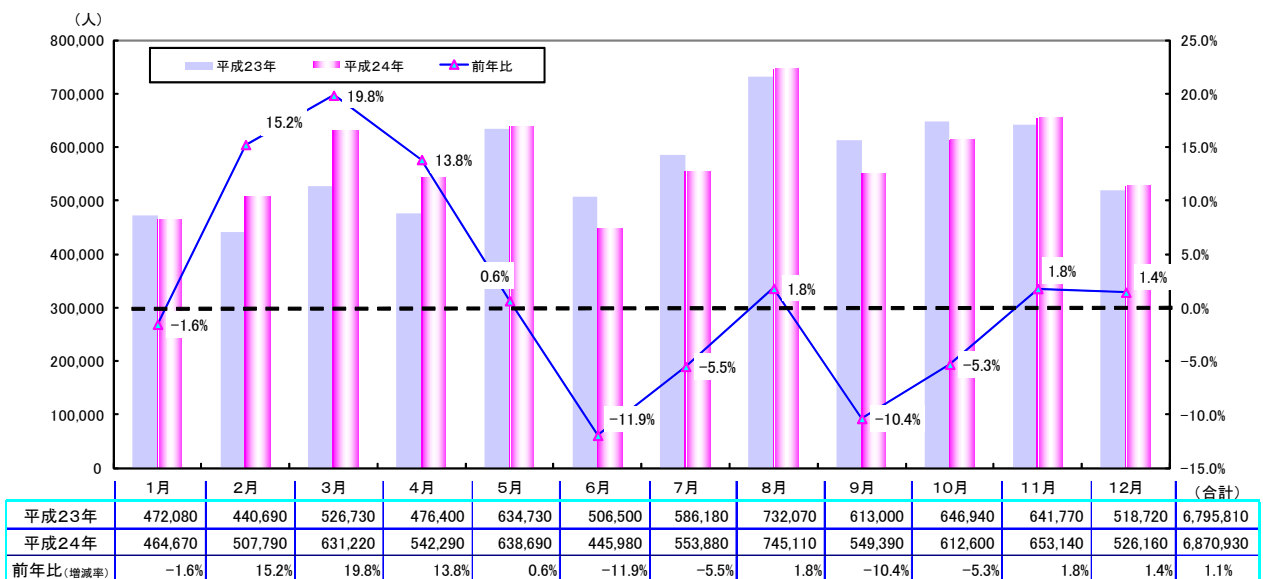
1 宿泊者数

(1) 月別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

1～5月は九州新幹線全線開業効果の継続や前年の新燃岳噴火の影響等による宿泊者数の落ち込みの反動によりおおむね前年を上回った。
6月以降は宿泊者数が前年同月を下回るなど平準化が進んだが、引き続き高い水準を維持し、年間を通しては前年比1.1%の増加となった。

延べ宿泊者数	平成24年			平成23年			延べ宿泊者数	平成24年			平成23年		
	県外	県内	合計	県外	県内	合計		県外	県内	合計	県外	県内	合計
1月(全宿泊施設)	312,520	144,820	464,670	318,090	153,600	472,080	8月(全宿泊施設)	519,410	212,920	745,110	511,450	213,100	732,070
2月(全宿泊施設)	356,960	142,050	507,790	306,970	133,150	440,690	9月(全宿泊施設)	383,910	153,330	549,390	445,910	160,370	613,000
3月(全宿泊施設)	461,750	159,340	631,220	367,160	159,030	526,730	10月(全宿泊施設)	428,290	172,070	612,600	457,720	183,500	646,940
4月(全宿泊施設)	383,310	150,280	542,290	335,960	133,880	476,400	11月(全宿泊施設)	446,640	189,930	653,140	441,090	196,290	641,770
5月(全宿泊施設)	449,960	179,140	638,690	458,050	166,860	634,730	12月(全宿泊施設)	332,940	184,410	526,160	347,670	169,140	518,720
6月(全宿泊施設)	304,540	133,660	445,980	356,650	142,650	506,500	合計	4,753,990	1,990,650	6,870,930	4,747,660	1,990,550	6,795,810
7月(全宿泊施設)	373,780	168,690	553,880	400,950	178,980	586,180	前年比(増減率)	0.1%	0.01%	1.1%			

※延べ宿泊者数は四捨五入をしているため、各月の合計値と総数とは一致しない場合がある。
※合計は居住地不詳を含むため、県外・県内の合算値とは一致しない。

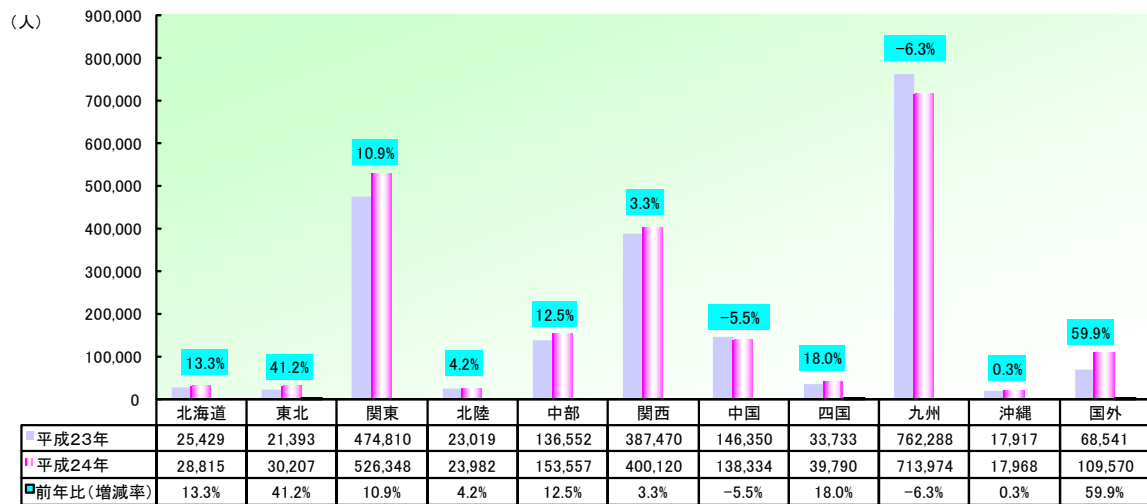


1 宿泊者数

(2) 発地別県外延べ宿泊者数 【出典：「鹿児島県観光動向調査」】

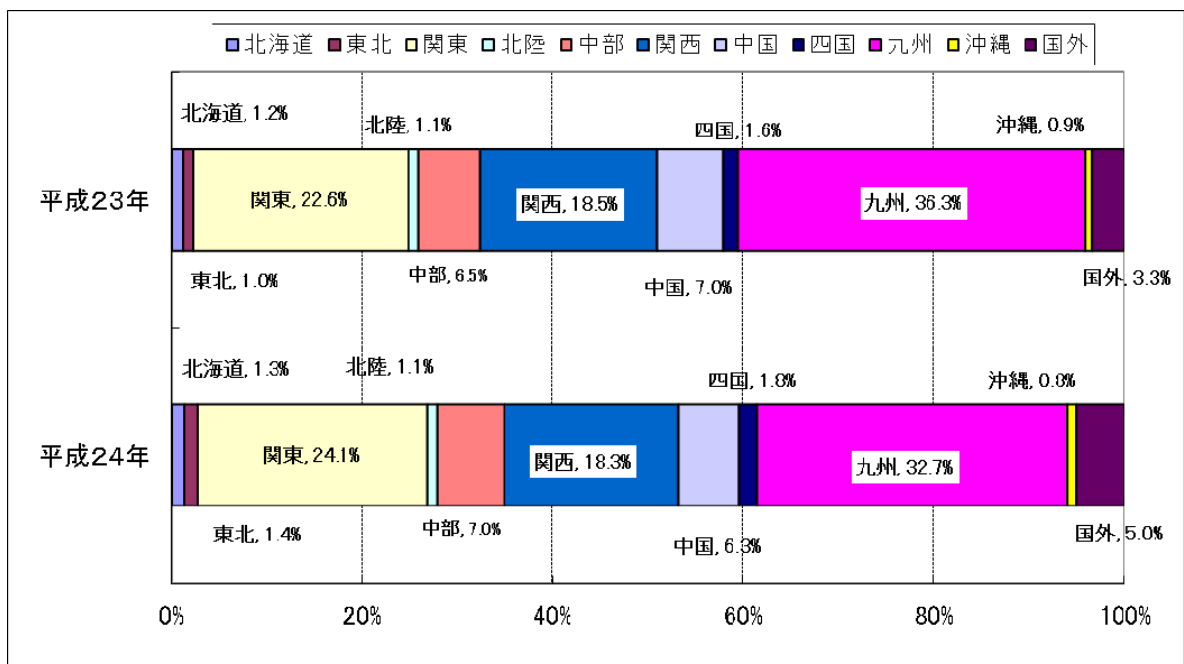
県外からの宿泊者を発地別で前年と比較すると、鹿児島ー台北線の就航により台湾からの観光客が増加したこと等から、国外からの宿泊客が大幅に増加した(59.9%増)。

また、発地別構成比を見ると、九州地区(32.7%)、関東地区(24.1%)、関西地区(18.3%)の順となっており、この3地区で全体の7割以上(75.1%)を占めている。



※県内主要宿泊施設が調査対象
 ※九州は鹿児島県を除く6県の合計

■ 発地別県外延べ宿泊者数の構成比

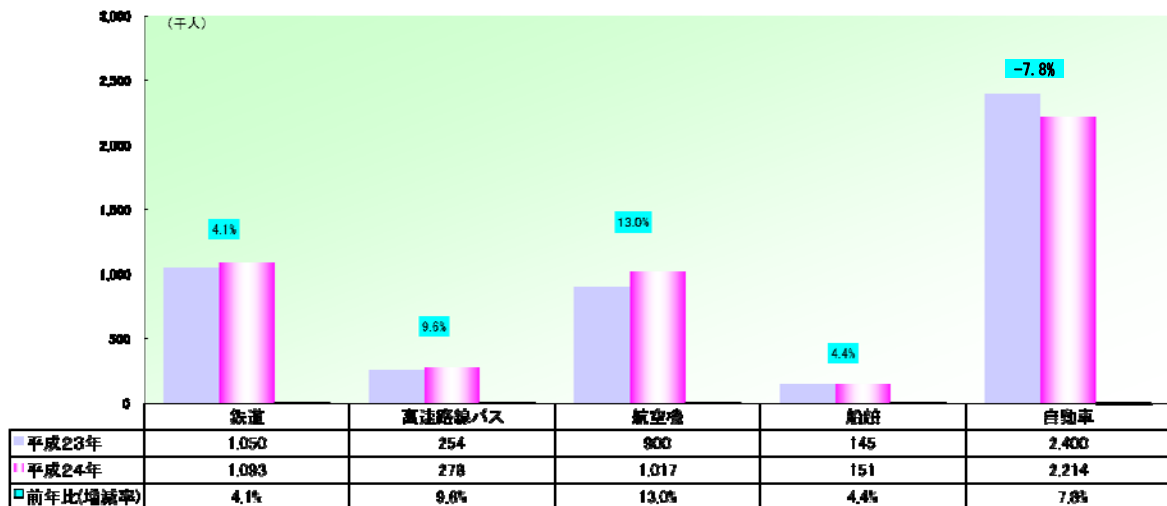


1 宿泊者数

(3) 交通機関別県外延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」及び県独自調査】

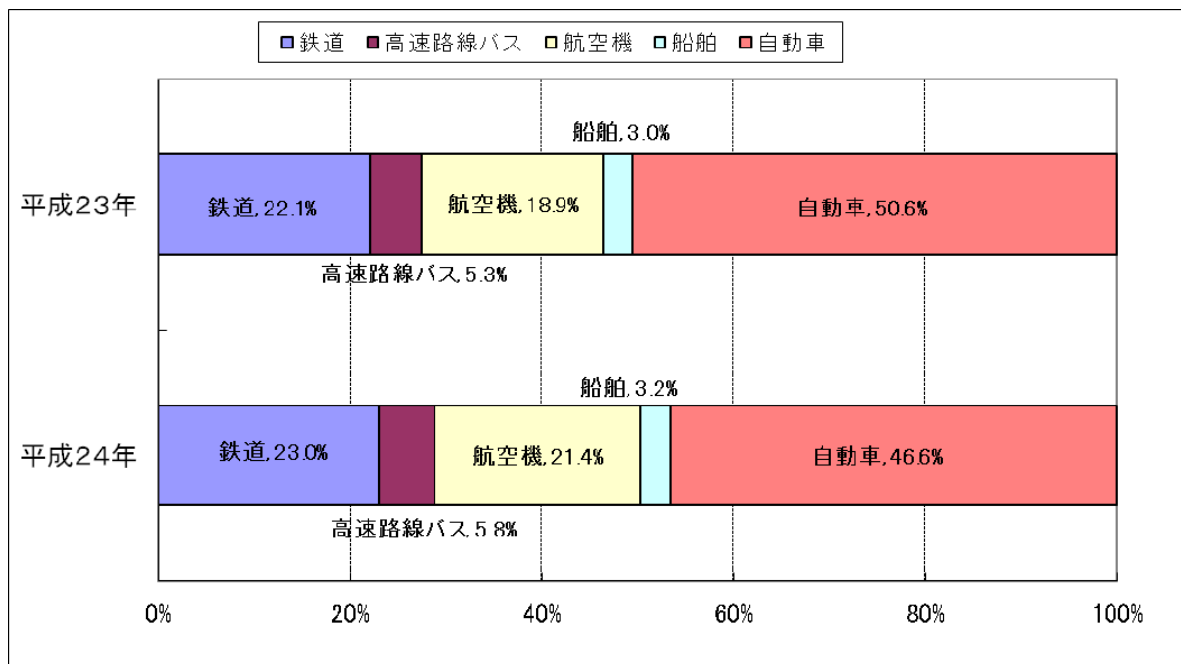
航空機を利用した宿泊客数が前年比 13.0%の増加となり、全交通機関中最も高い伸びとなった。これは鹿児島ー台北線の就航やLCC（Low Cost Carrier, 格安航空会社）の就航などの影響が考えられる。

また、交通機関別構成比で見ると、自動車によるものが 46.6%と全体の約 5 割を占め、鉄道が 23.0%，航空機が 21.4%の順となっている。



※自動車は貸切観光バスを含む

■ 交通機関別県外延べ宿泊者数の構成比



1 宿泊者数

(4) 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

平成24年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は、前年を大幅に上回り前年比83.6%増となった。前年の新燃岳噴火や東日本大震災の影響等による宿泊客の落ち込みの反動とともに、鹿児島ー台北線就航による台湾からのツアー客が増加したことなどの要因が考えられる。

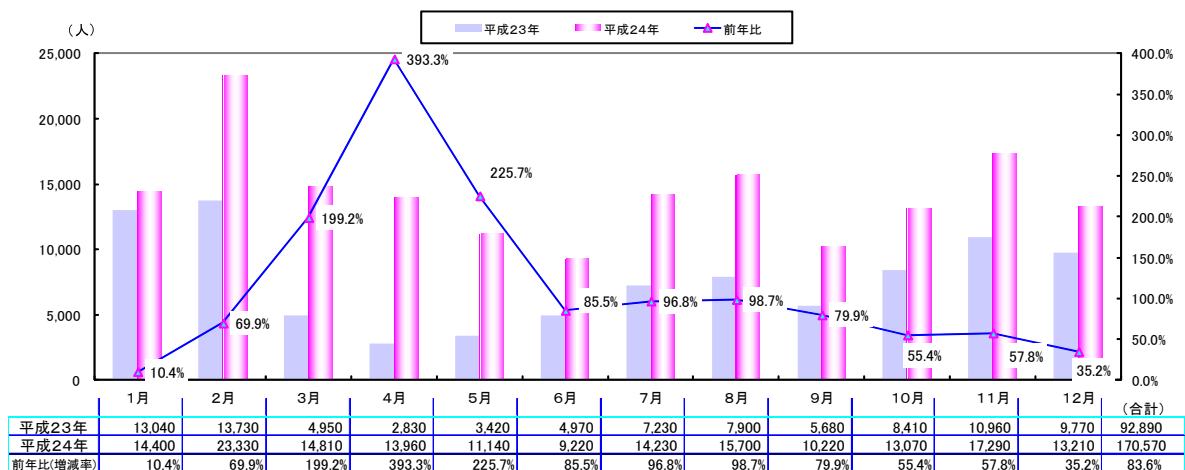
国籍別の構成比では、韓国と台湾からの宿泊者がともに32.8%と最も多く、次いで中国7.8%の順となっている。

韓国については、前年比27.7%増となった。前年の新燃岳噴火や東日本大震災の影響等による宿泊客の落ち込みの反動に加え、プロ野球やサッカーチームによるキャンプの増加が寄与したと考えられる。

台湾については、前年比209.2%増と大幅に増加した。3月に鹿児島ー台北線が就航し、ツアー客が増加したためと考えられる。

香港については、前年比102.4%増となった。夏場の連続チャーターが平成23年の8便から平成24年は22便になったことなどにより団体ツアー客が増加したためと考えられる。

■ 月別外国人延べ宿泊者数

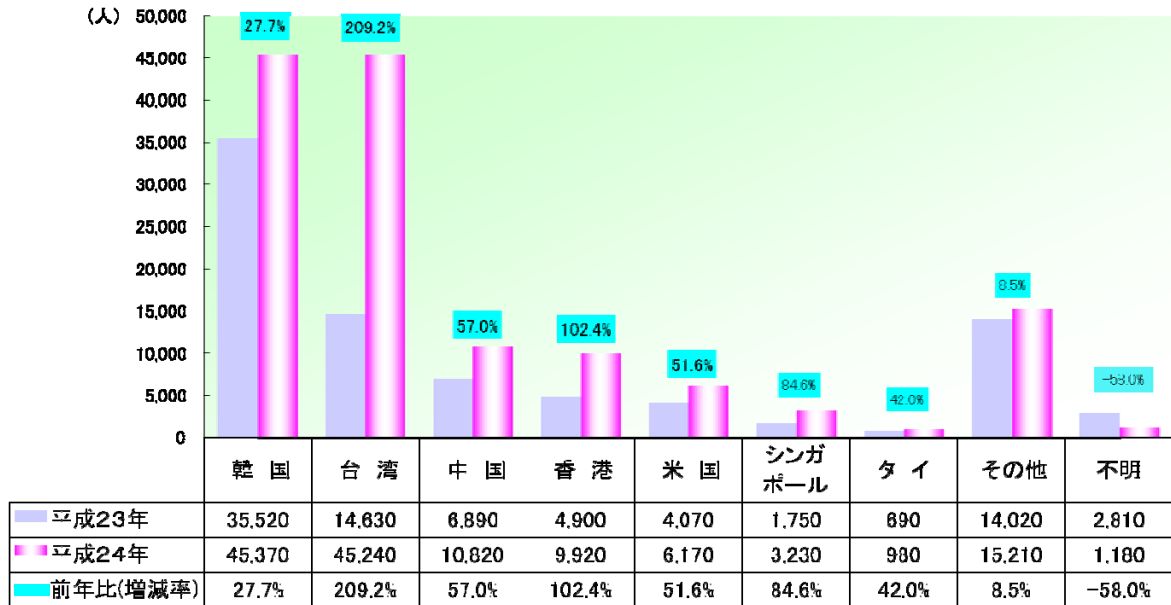


【参考】 従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成23年	12,240	12,190	4,700	2,390	3,110	4,660	6,380	6,860	4,960	7,650	10,620	9,530	85,280
平成24年	12,290	16,810	12,430	10,000	7,790	7,430	11,320	11,900	8,350	11,900	15,820	12,080	138,120
前年比(増減率)	0.4%	37.9%	164.5%	318.4%	150.5%	59.4%	77.4%	73.5%	68.3%	55.6%	49.0%	26.8%	62.0%

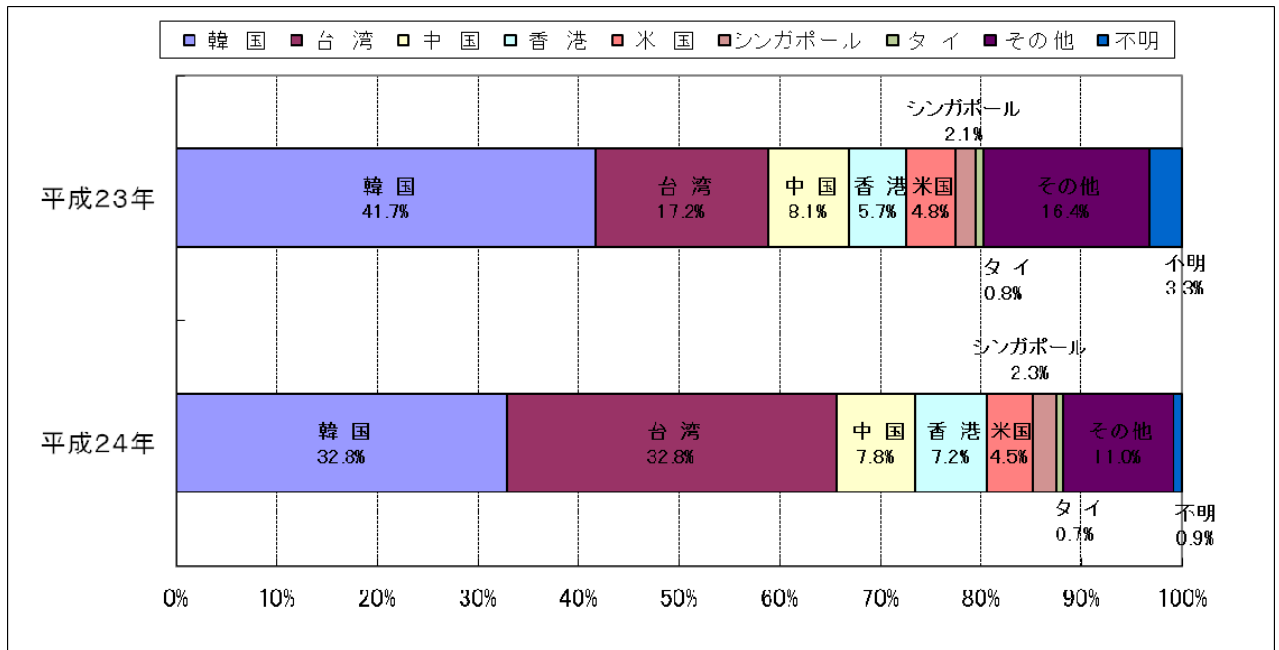
1 宿泊者数

■ 国籍別外国人延べ宿泊者数



※従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数

■ 国籍別外国人延べ宿泊者数の構成比



※従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数

2 日帰り客

(1) 四半期別延べ日帰り客数【出典：観光庁「観光入込客統計」】

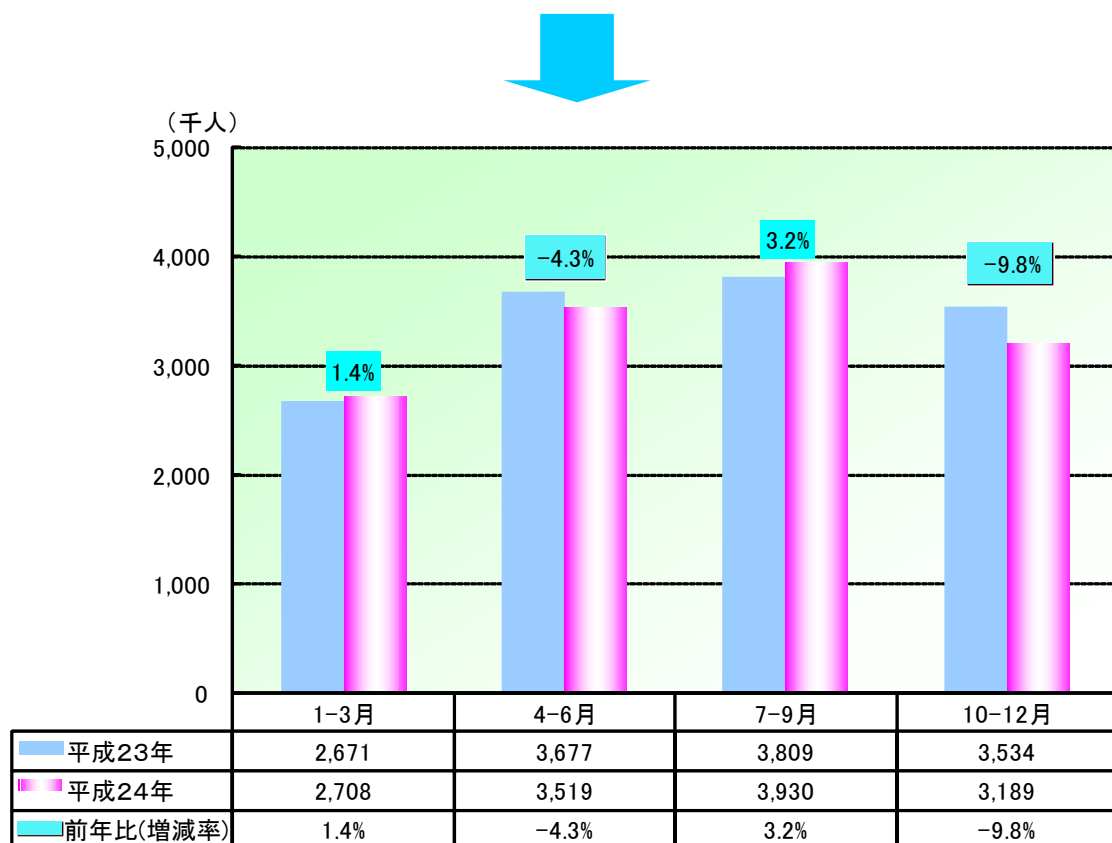
県内日帰り客は年間を通じて前年を下回ったが、県外日帰り客は4-6月期を除き前年を上回った。

県内日帰り客の減少については、前年の東日本大震災の影響による自粛ムードが解消され、東京スカイツリーの開業やLCC（Low Cost Carrier, 格安航空会社）の就航等もあり、県内日帰り客が県外へ流出したことが考えられる。

また、県外日帰り客の増加については、九州新幹線の全線開業効果で交通の利便性が高まったことなどの影響が考えられる。

延べ日帰り客数	(千人)						前年比(増減率)		
	平成24年			平成23年			県外	県内	合計
	県外	県内	合計	県外	県内	合計			
1-3月期	575	2,133	2,708	466	2,205	2,671	23.4%	-3.3%	1.4%
4-6月期	834	2,685	3,519	854	2,822	3,677	-2.3%	-4.9%	-4.3%
7-9月期	1,141	2,789	3,930	863	2,945	3,809	32.2%	-5.3%	3.2%
10-12月期	791	2,398	3,189	569	2,965	3,534	39.0%	-19.1%	-9.8%
合計	3,341	10,005	13,346	2,754	10,937	13,691	21.3%	-8.5%	-2.5%

※端数処理の都合上、各表間で数値が一致しない場合がある。



3 観光消費額

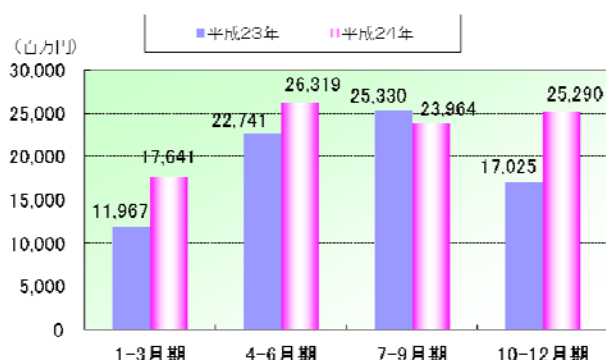
(1) 四半期別観光消費額【出典：観光庁「観光入込客統計」】

宿泊観光消費額については、前年に比べ宿泊者数が増加したことに加え、観光消費額単価が上がったことにより、前年比21.0%増加となった。

一方、日帰り観光消費額については、県内日帰り客の減少により観光消費額は前年比13.2%の減少となったものの、全体としては9.5%増加となった。

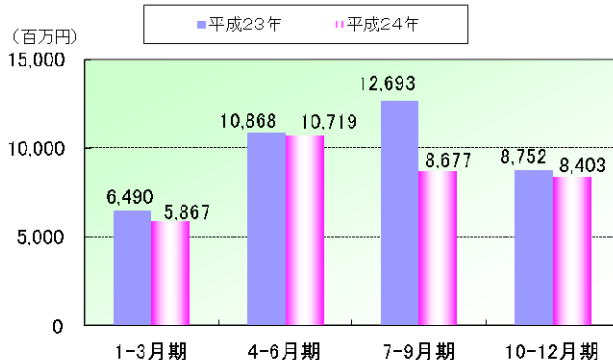
■ 四半期別観光消費額（宿泊）

	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
1-3月期	17,641		11,967		47.4%	
	14,190	3,451	9,926	2,041	43.0%	69.1%
4-6月期	26,319		22,741		15.7%	
	20,567	5,752	17,455	5,286	17.8%	8.8%
7-9月期	23,964		25,330		-5.4%	
	18,555	5,409	20,134	5,196	-7.8%	4.1%
10-12月期	25,290		17,025		48.5%	
	20,267	5,023	13,849	3,176	46.3%	58.2%
合計(1-12月期)	93,214		77,063		21.0%	
	73,579	19,635	61,364	15,699	19.9%	25.1%



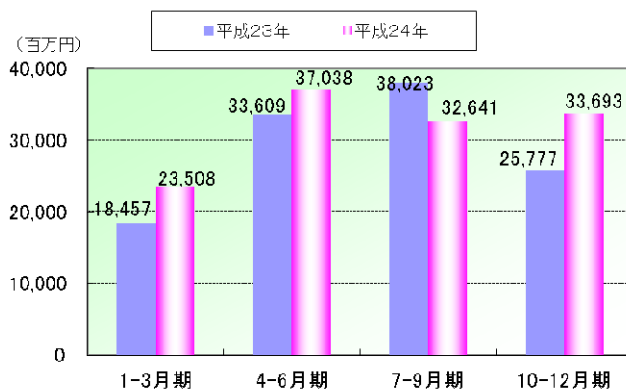
■ 四半期別観光消費額（日帰り）

	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
1-3月期	5,867		6,490		-9.6%	
	2,376	3,491	2,115	4,375	12.3%	-20.2%
4-6月期	10,719		10,868		-1.4%	
	4,372	6,347	4,221	6,647	3.6%	-4.5%
7-9月期	8,677		12,693		-31.6%	
	2,954	5,723	5,032	7,661	-41.3%	-25.3%
10-12月期	8,403		8,752		-4.0%	
	3,776	4,627	2,455	6,297	53.8%	-26.5%
合計(1-12月期)	33,666		38,803		-13.2%	
	13,478	20,188	13,823	24,980	-2.5%	-19.2%



■ 四半期別観光消費額（宿泊+日帰り）

	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
1-3月期	23,508		18,457		27.4%	
	16,566	6,942	12,041	6,416	37.6%	8.2%
4-6月期	37,038		33,609		10.2%	
	24,939	12,099	21,676	11,933	15.1%	1.4%
7-9月期	32,641		38,023		-14.2%	
	21,509	11,132	25,166	12,857	-14.5%	-13.4%
10-12月期	33,693		25,777		30.7%	
	24,043	9,650	16,304	9,473	47.5%	1.9%
合計(1-12月期)	126,880		115,866		9.5%	
	87,057	39,823	75,187	40,679	15.8%	-2.1%



4 地区別の動向

(1) 地区別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

平成24年の延べ宿泊者数は、指宿地区、霧島地区、大隅地区、屋久島地区、奄美地区で前年を上回った。

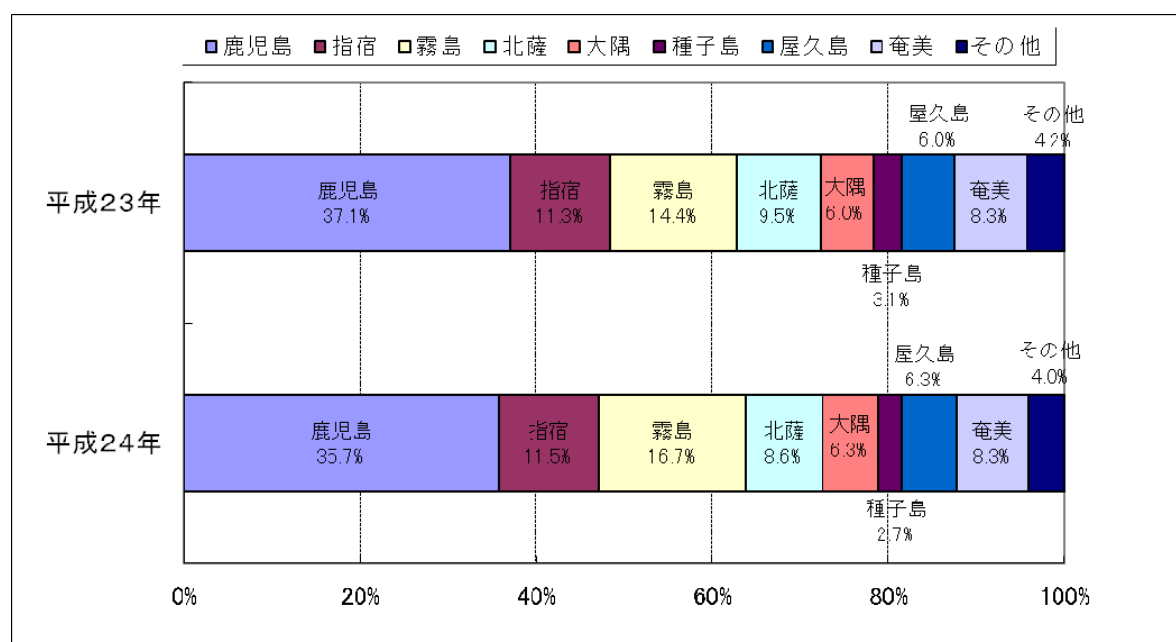
また、地区別構成比は、鹿児島地区が35.7%と最も高く、次いで霧島地区が16.7%となっている。

(人)					
	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成23年	2,520,768	769,971	980,168	646,038	407,237
平成24年	2,451,924	787,849	1,147,195	594,131	430,369
前年比(増減率)	-2.7%	2.3%	17.0%	-8.0%	5.7%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成23年	211,872	409,553	562,755	287,448	6,795,810
平成24年	188,946	430,271	566,865	273,370	6,870,930
前年比(増減率)	-10.8%	5.1%	0.7%	-4.9%	1.1%

※延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある（観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入しているため）。

■ 地区別延べ宿泊者数の構成比



4 地区別の動向

■ 鹿児島地区の延べ宿泊者数の動向

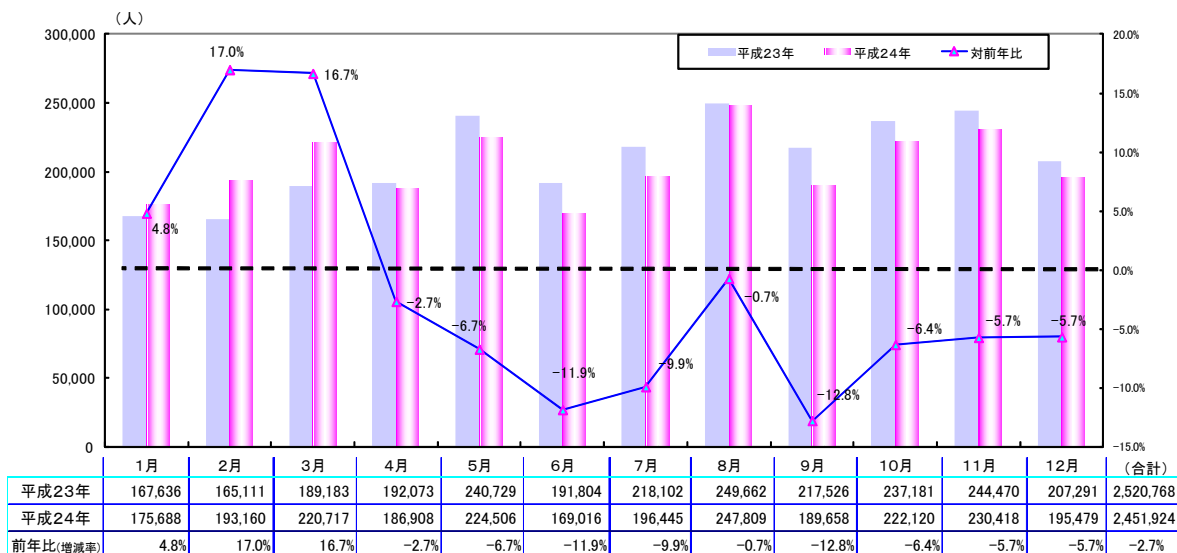
鹿児島地区の延べ宿泊者数は前年比 2.7%減少し、前年と比べ約 7 万人の減少となった。

これは、1 月から 3 月の宿泊客数は九州新幹線全線開業効果により前年比プラスで推移したものの、4 月以降は全線開業初年度の宿泊客の急激な増加の反動を受けたことによるものと考えられる。

		(人)					
鹿児島地区		平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数		2,451,924		2,520,768		-2.7%	
1~12月分		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		1,767,941	638,919	1,847,423	651,246	-4.3%	-1.9%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【鹿児島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 指宿地区の延べ宿泊者数の動向

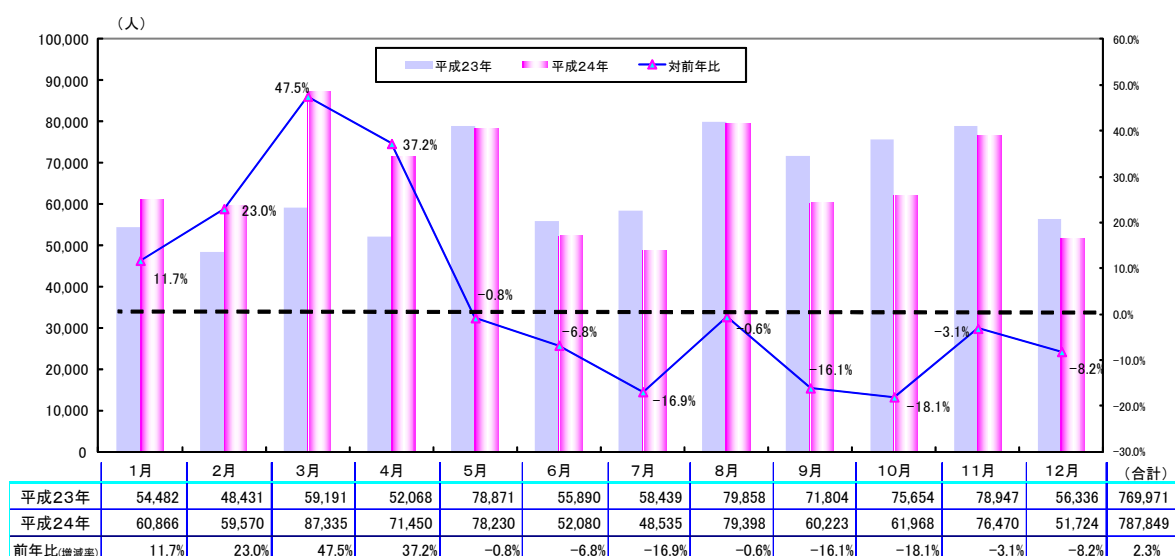
指宿地区の延べ宿泊者数は前年比 2.3%増加し、前年と比べ約 2 万人の増加となった。

1～4月は前年に引き続き、九州新幹線全線開業効果等により宿泊者数は増加した。5月以降は全線開業の効果は一段落したものの、鹿児島ー台北線の就航による台湾からのツアー客の増加などもあり、高い水準を維持し、年間を通じては前年比を上回る結果となった。

指宿地区	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	787,849		769,971		2.3%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	665,389	107,980	622,245	140,950	6.9%	-23.4%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【指宿地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

■ 霧島地区の延べ宿泊者数の動向

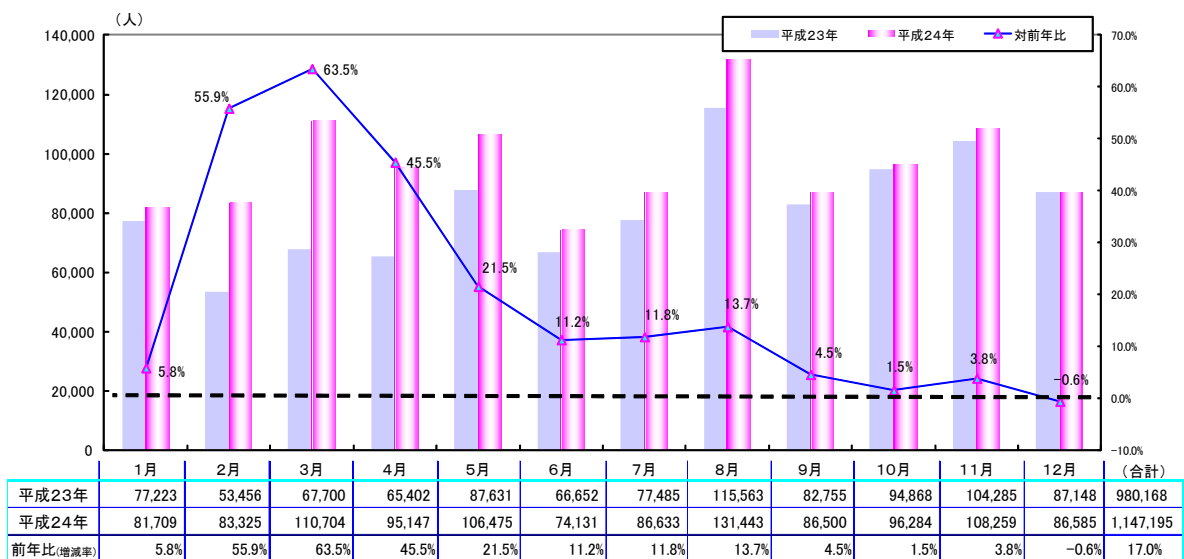
霧島地区の延べ宿泊者数は、前年比17.0%増加となり、全地区中でもっとも高い伸びとなった。

これは、前年の新燃岳噴火や東日本大震災の影響などで宿泊者数が減少したことの反動、九州新幹線全線開業効果や鹿児島ー台北線の就航による台湾からのツアー客の増加などによるものと考えられる。

霧島地区	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	1,147,195		980,168		17.0%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	832,589	293,522	668,911	302,849	24.5%	-3.1%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【霧島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

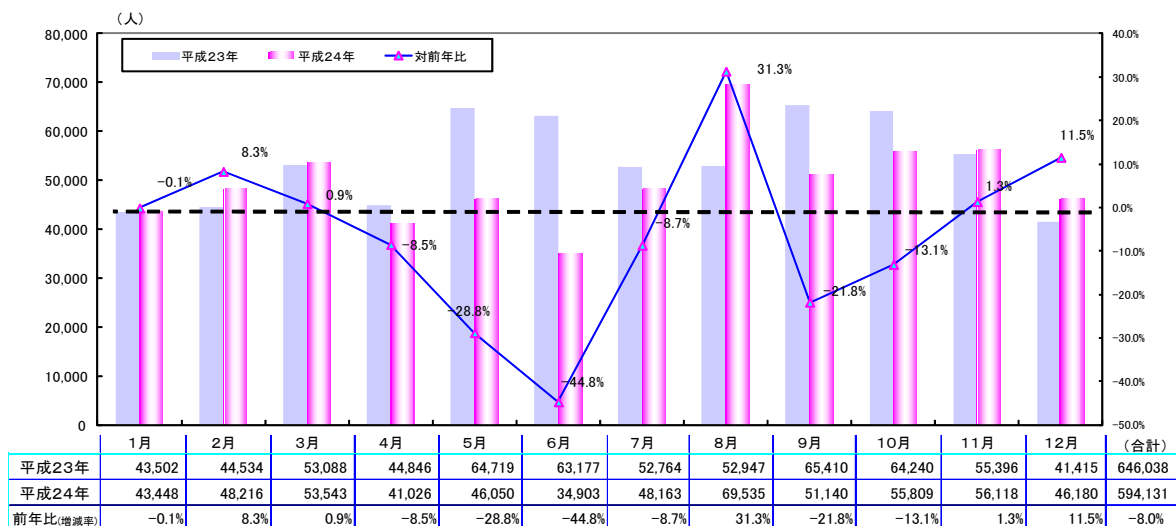
■ 北薩地区の延べ宿泊者数の動向

北薩地区の延べ宿泊者数は、前年比 8.0%の減少となった。
これは、九州新幹線全線開業効果が一段落したことに加え、ビジネス客の減少等
が考えられる。

北薩地区	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	594,131		646,038		-8.0%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	342,217	240,995	418,858	221,947	-18.3%	8.6%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【北薩地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

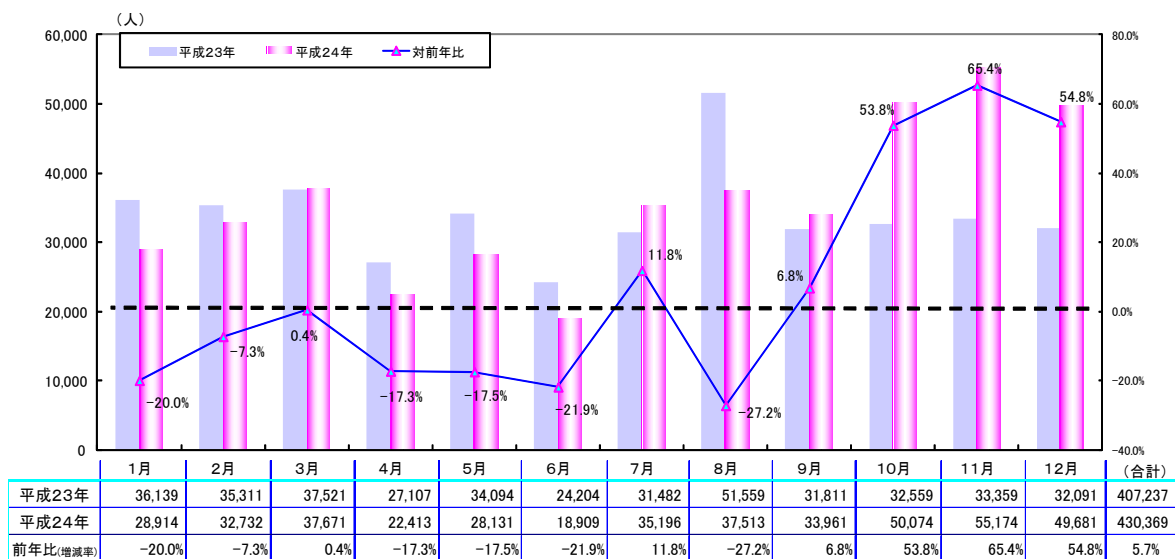
■ 大隅地区の延べ宿泊者数の動向

大隅地区の延べ宿泊者数は、前年比 5.7%増加となった。
これは、スポーツ合宿の増加や町道「佐多岬公園線」の開通などの影響によるものと考えられる。

大隅地区	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	430,369		407,237		5.7%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	259,437	163,022	245,566	158,408	5.6%	2.9%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【大隅地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

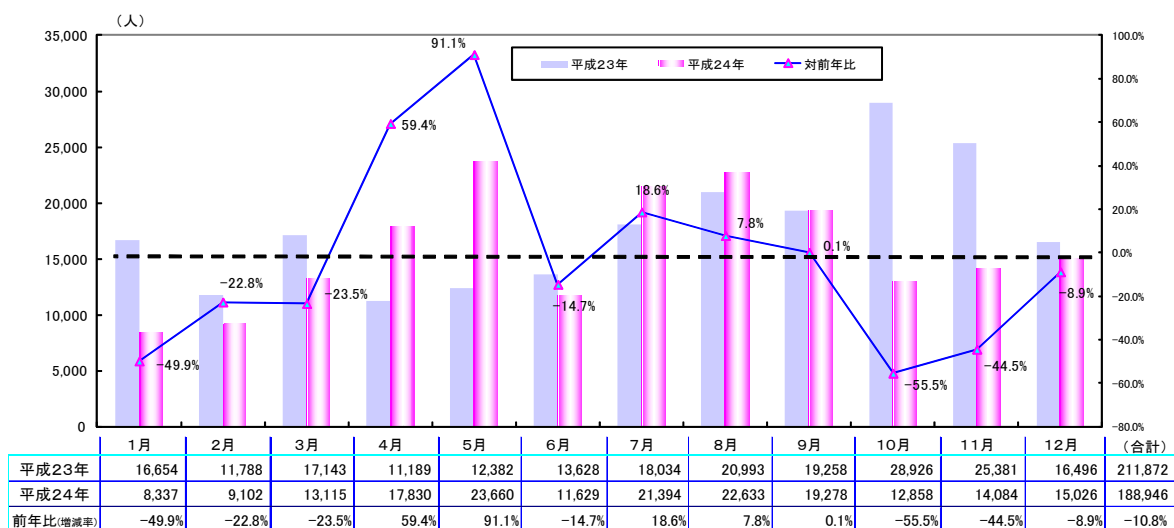
■ 種子島地区の延べ宿泊者数の動向

種子島地区の延べ宿泊者数は前年比 10.8%の減少となった。
これは、教育旅行などの団体客の減少や関東・県内からの宿泊客の減少等が考えられる。

種子島地区	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	188,946		211,872		-10.8%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	91,004	94,469	108,210	102,100	-15.9%	-7.5%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【種子島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

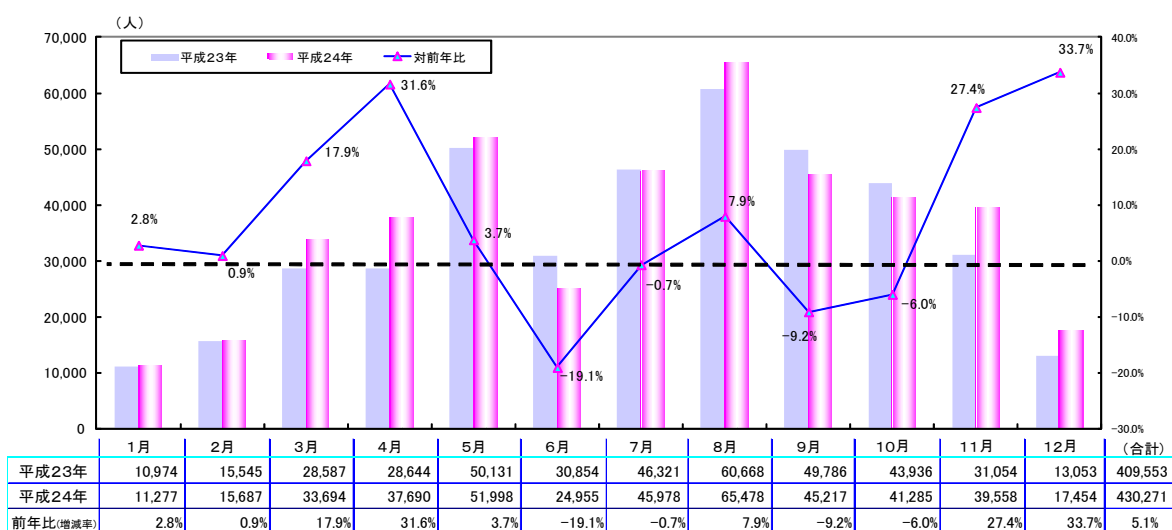
■ 屋久島地区の延べ宿泊者数の動向

屋久島地区の延べ宿泊者数は、前年比 5.1%の増加となった。
 これは、前年の東日本大震災の影響などで宿泊者数が減少したことの反動，教育旅行や鹿児島ー台北線の就航による台湾からのツアー客などの団体客の増加等によるものと考えられる。

屋久島地区	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	430,271		409,553		5.1%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	332,128	90,235	361,430	44,686	-8.1%	101.9%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【屋久島地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

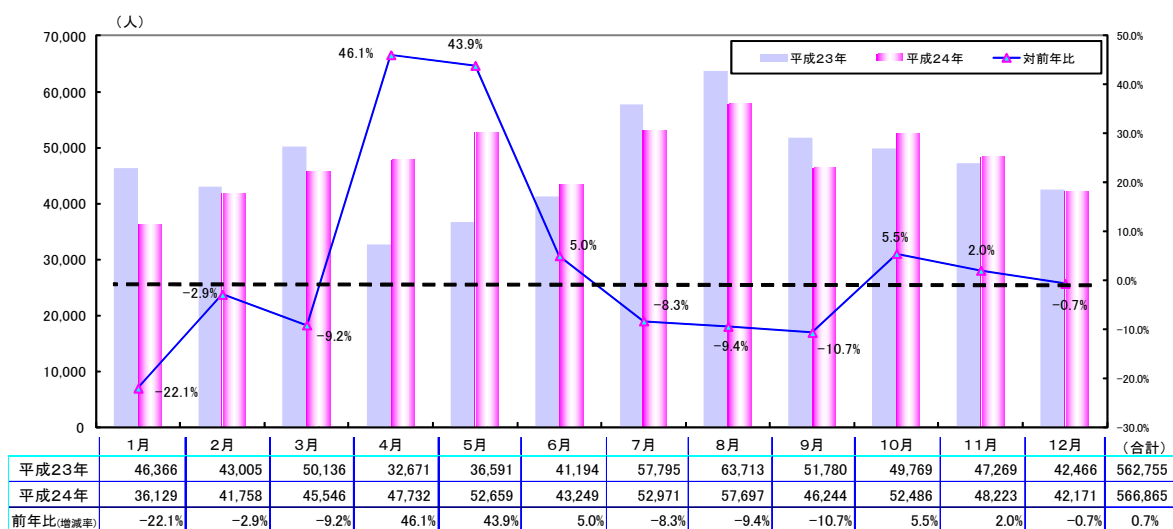
■ 奄美地区の延べ宿泊者数の動向

奄美地区の延べ宿泊者数は、前年比0.7%の増加となった。
これは、前年の東日本大震災の影響等で宿泊者数が減少したことの反動などによるものと考えられる。

奄美地区	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	566,865		562,755		0.7%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	302,289	254,158	299,005	259,178	1.1%	-1.9%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【奄美地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

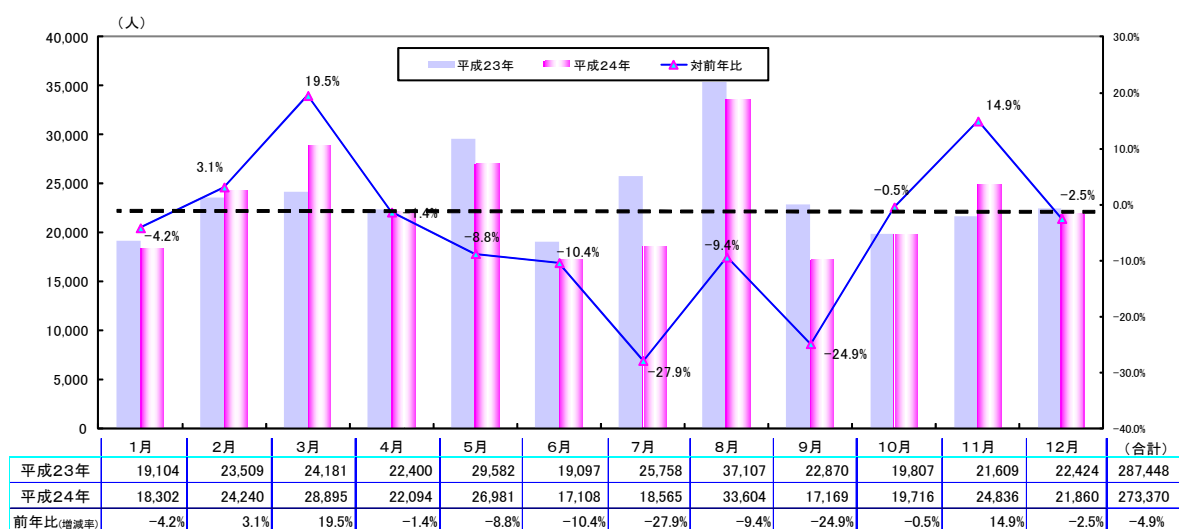
■ その他地区の延べ宿泊者数の動向

その他地区の延べ宿泊者数は、前年比4.9%の減少となった。

その他地区	平成24年		平成23年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	273,370		287,448		-4.9%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	160,996	107,350	176,012	109,186	-8.5%	-1.7%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【その他地区の月別延べ宿泊者数】



4 地区別の動向

(2) 地区別延べ日帰り客数 【出典：観光庁「観光入込客統計」を用いて県で推定】

平成24年の延べ日帰り客数は、指宿地区、霧島地区、大隅地区、奄美地区では前年を上回った。

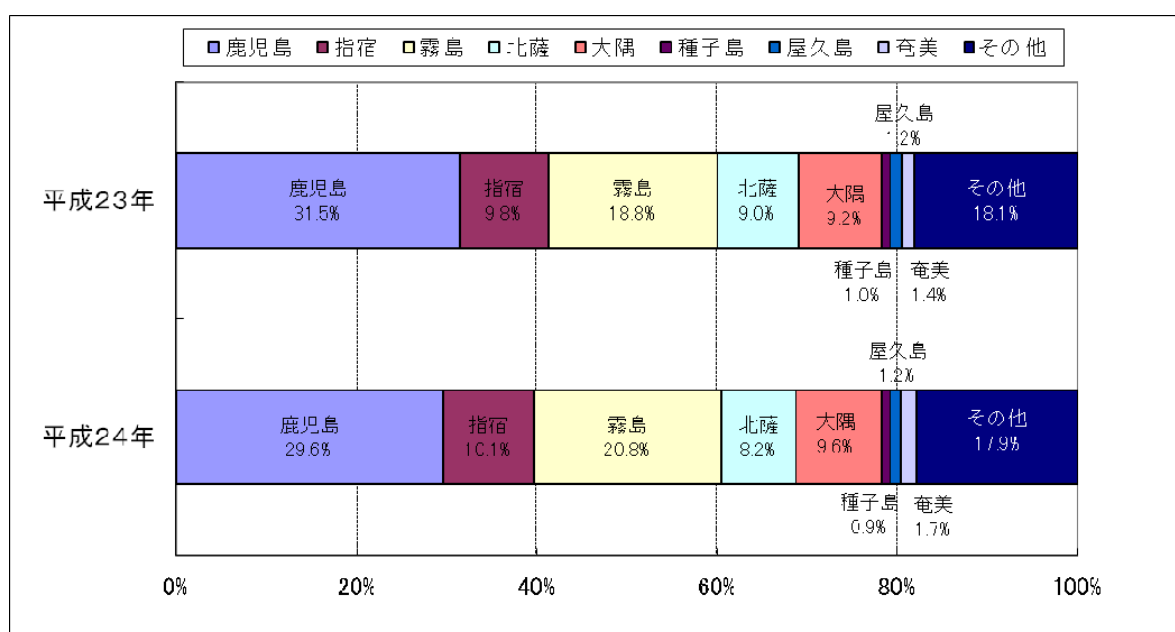
また、地区別構成比は、鹿児島地区が29.6%と全体の約3割を占め、次いで霧島地区が20.8%となっている。

(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成24年	3,955,949	1,344,236	2,780,622	1,090,636	1,275,070
平成23年	4,317,375	1,337,488	2,567,627	1,235,123	1,255,449
前年比(増減率)	-8.4%	0.5%	8.3%	-11.7%	1.6%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成24年	122,891	163,067	222,592	2,390,938	13,346,000
平成23年	138,510	166,760	192,236	2,480,432	13,691,000
前年比(増減率)	-11.3%	-2.2%	15.8%	-3.6%	-2.5%

■ 地区別延べ日帰り客数の構成比



4 地区別の動向

(3) 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数

平成24年の地区別延べ宿泊者数と地区別延べ日帰り客数の合算値は、指宿地区、霧島地区、大隅地区、奄美地区で前年を上回ったものの、前年比1.3%の減少となった。

また、地区別構成比は、鹿児島地区が31.7%と全体の3割を占め、次いで霧島地区が19.4%となっている。

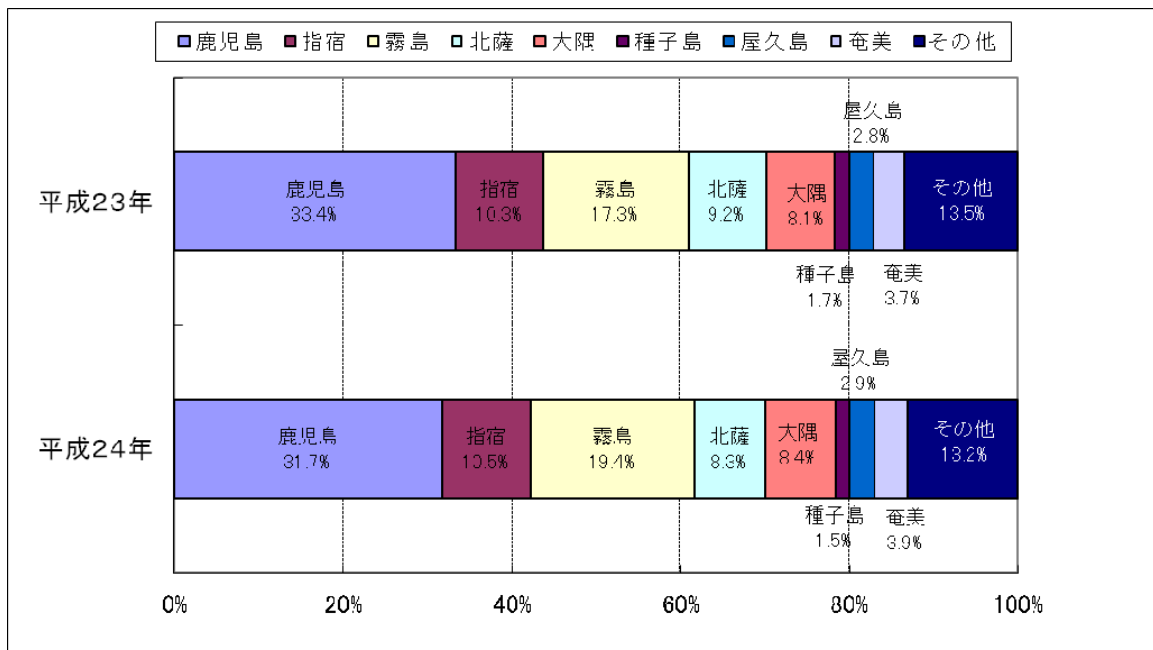
(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成24年	6,407,873	2,132,085	3,927,817	1,684,767	1,705,439
平成23年	6,838,143	2,107,459	3,547,795	1,881,161	1,662,686
前年比(増減率)	-6.3%	1.2%	10.7%	-10.4%	2.6%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成24年	311,837	593,338	789,457	2,664,308	20,216,930
平成23年	350,382	576,313	754,991	2,767,880	20,486,810
前年比(増減率)	-11.0%	3.0%	4.6%	-3.7%	-1.3%

※延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある（観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入している）。

■ 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数の構成比



4 地区別の動向

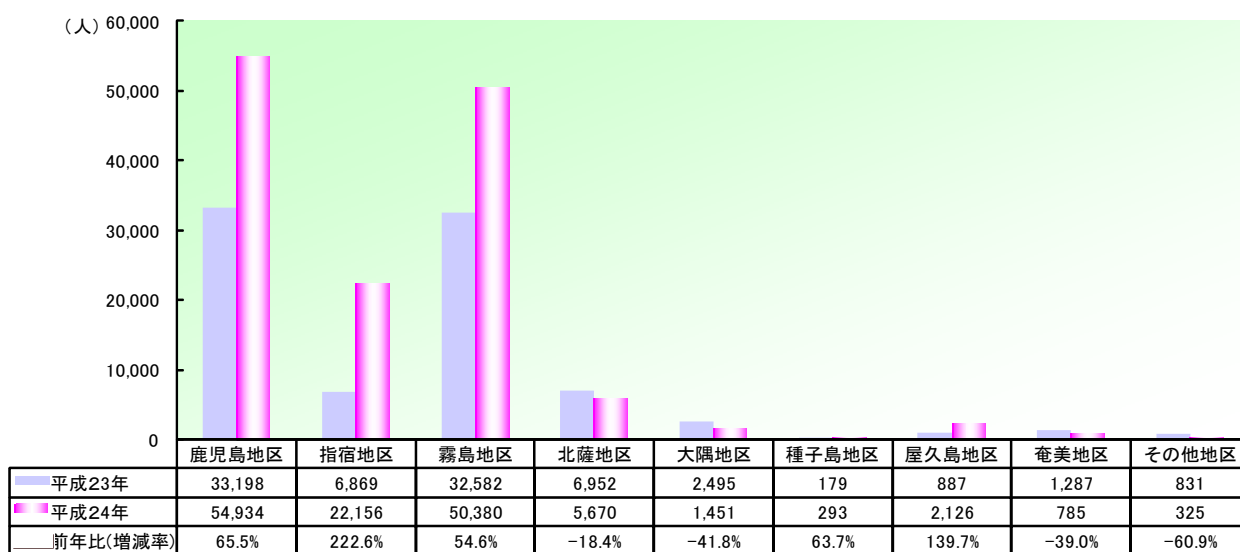
(4) 地区別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

平成24年の地区別外国人延べ宿泊者数は、鹿児島地区、指宿地区、霧島地区、種子島地区、屋久島地区で前年を上回った。

(人)					
	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成24年	54,934	22,156	50,380	5,670	1,451
平成23年	33,198	6,869	32,582	6,952	2,495
前年比(増減率)	65.5%	222.6%	54.6%	-18.4%	-41.8%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成24年	293	2,126	785	325	138,120
平成23年	179	887	1,287	831	85,280
前年比(増減率)	63.7%	139.7%	-39.0%	-60.9%	62.0%

※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数

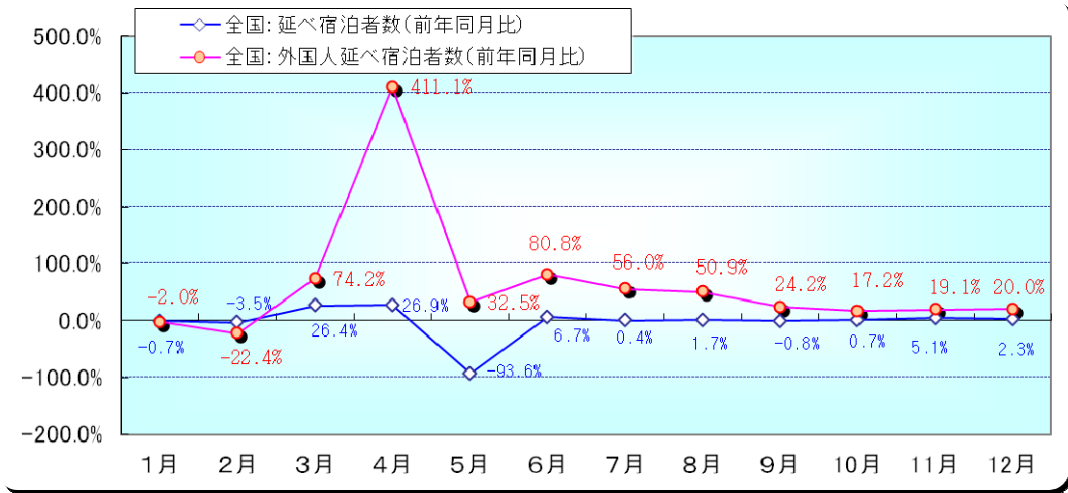


※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数を用いた。

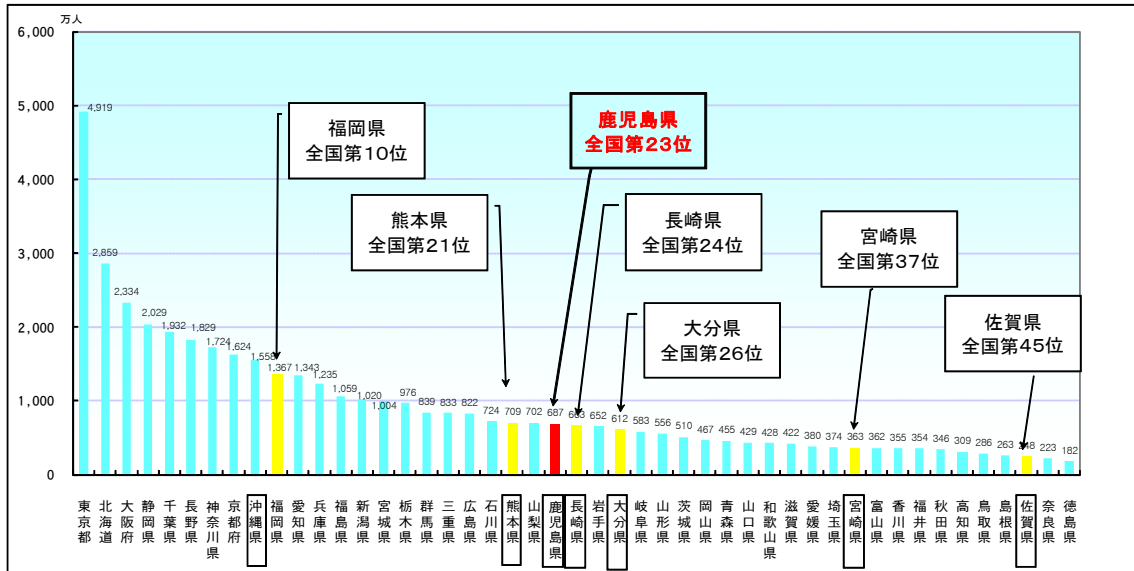
参考資料

1 全国における宿泊者の動向【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

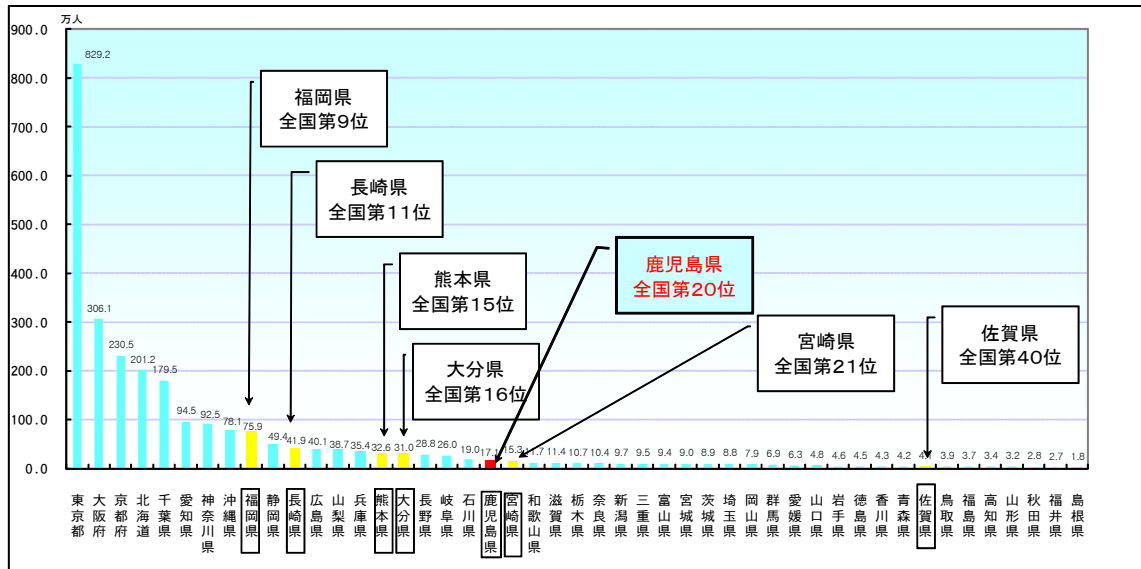
(1) 月別延べ宿泊者数



(2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成 24 年)

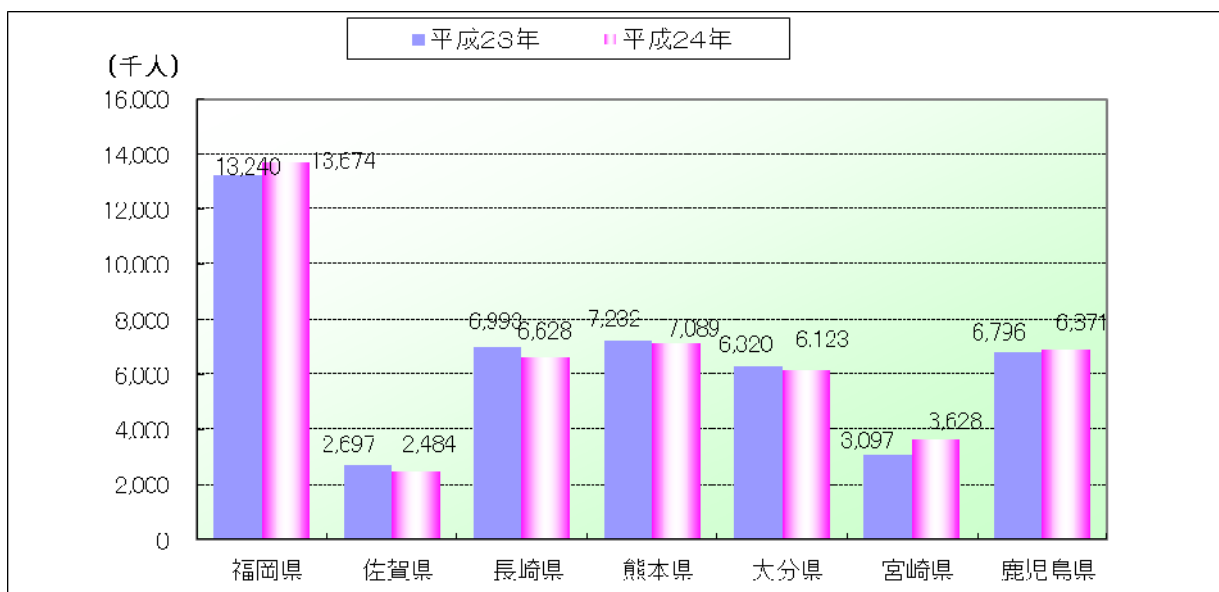


(3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成 24 年)



2 九州における宿泊者の動向

(1) 九州各県別延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】



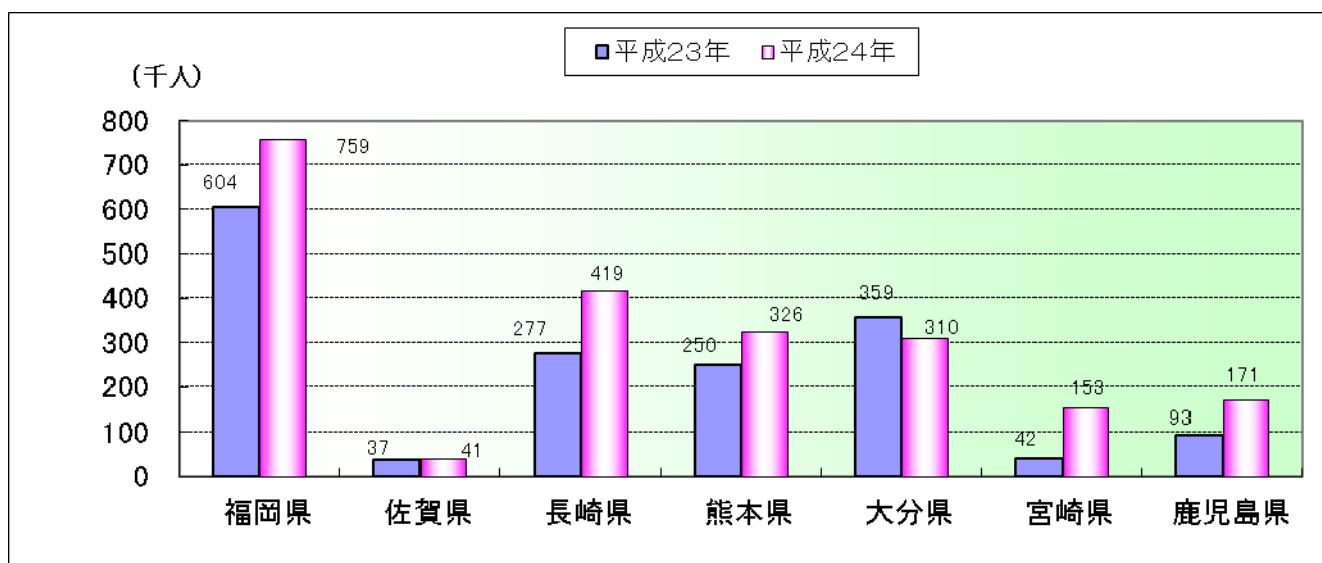
単位：人

	平成23年	平成24年	平成24年		前年比
			全国順位	九州順位	
福岡県	13,240,240	13,674,120	10位	1位	103.3%
佐賀県	2,696,600	2,483,640	45位	7位	92.1%
長崎県	6,993,380	6,628,470	24位	4位	94.8%
熊本県	7,231,800	7,089,180	21位	2位	98.0%
大分県	6,319,580	6,122,600	26位	5位	96.9%
宮崎県	3,097,120	3,627,650	37位	6位	117.1%
鹿児島県	6,795,810	6,870,930	23位	3位	101.1%
九州計	46,374,530	46,496,590			100.3%
全国	417,234,450	439,495,120			105.3%

※従業員数9人以下の宿泊施設を含む前宿泊施設の年間の宿泊者数

2 九州における宿泊旅行者の動向

(2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】



単位：人

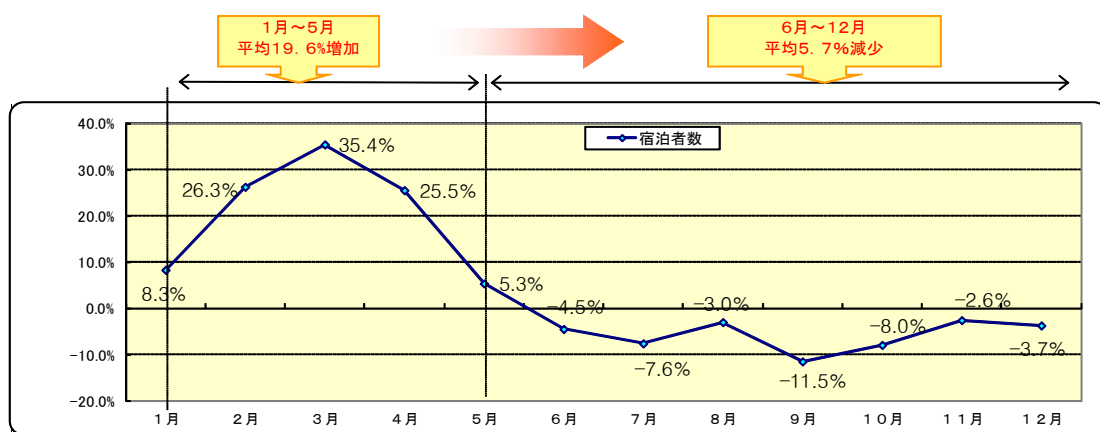
	平成23年	平成24年	順位		前年比
			全国順位	九州順位	
福岡県	604,160	758,730	9位	1位	125.6%
佐賀県	36,860	40,960	40位	7位	111.1%
長崎県	276,810	418,820	11位	2位	151.3%
熊本県	250,390	325,910	15位	3位	130.2%
大分県	358,860	310,320	16位	4位	86.5%
宮崎県	41,980	153,230	21位	6位	365.0%
鹿児島県	92,890	170,570	20位	5位	183.6%
九州計	1,661,950	2,178,540			131.1%
全国	18,415,690	26,314,340			142.9%

※従業員数9人以下の宿泊施設を含む前宿泊施設の年間の宿泊者数

3 鹿児島県観光動向調査

1月から5月の宿泊者数は各月とも前年同月を上回って推移し、平均19.6%の増加となった。九州新幹線全線開業効果や東日本大震災の影響による落ち込みの反動などの要因が考えられる。

一方、6月から12月の宿泊者数は前年同月に比べ平均5.7%の減少となった。これは、前年が九州新幹線全線開業効果により宿泊者数が急激に上昇したため、宿泊客の平準化が緩やかに進んだものと考えられる。



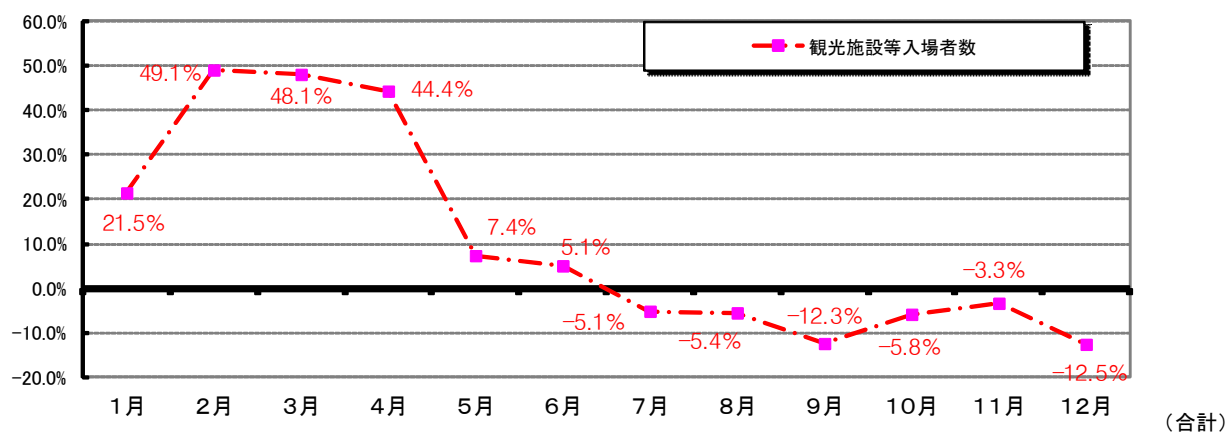
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成23年	185,816	169,547	236,618	215,237	284,735	224,110	264,644	359,126	278,671	311,194	325,532	259,032	3,114,262
平成24年	201,229	214,067	320,432	270,167	299,952	213,990	244,467	348,322	246,572	286,404	317,101	249,328	3,212,031

単位:人

3 鹿児島県観光動向調査

(2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数

県内の主要観光施設・ドライブインの入場者数を前年と比較すると、7.7%の増加となった。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成23年	663,807	221,561	408,911	426,913	739,906	338,011	419,629	723,072	509,265	630,847	652,809	436,512	6,171,243
平成24年	806,459	330,376	605,710	616,345	794,851	355,365	398,308	683,803	446,544	594,530	631,436	381,919	6,645,646

単位：人

3 鹿児島県観光動向調査

(3) 旅行形態別延べ宿泊客数

宿泊客を形態別にみると、個人客数は前年と比較すると4.8%増加し、団体客数は17.7%の増加となった。

《平成23年》 (単位:人、%)

	宿泊客数 (構成比)
合計	2,307,334
個人客(含む家族・小グループ)	1,621,987 (70.3)
団体客(15名以上)	685,347
一般団体・企画商品	565,818 (24.5)
大会	47,263 (2.0)
教育旅行	72,266 (3.1)

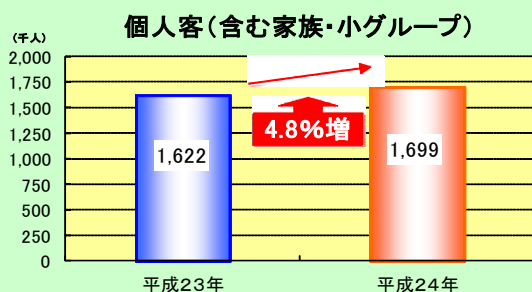
注:調査対象のうち回答があった施設の集計

《平成24年》 (単位:人、%)

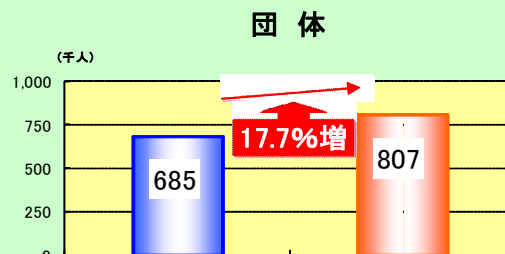
	宿泊客数 (構成比)
合計	2,506,052
個人客(含む家族・小グループ)	1,699,139 (67.8)
団体客(15名以上)	806,913
一般団体・企画商品	677,729 (27.0)
大会	51,355 (2.1)
教育旅行	77,829 (3.1)

注:調査対象のうち回答があった施設の集計

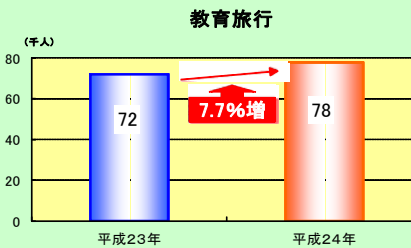
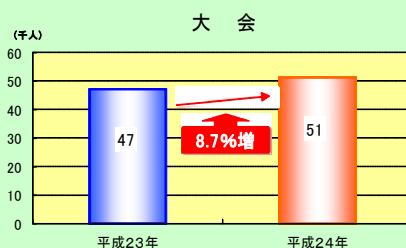
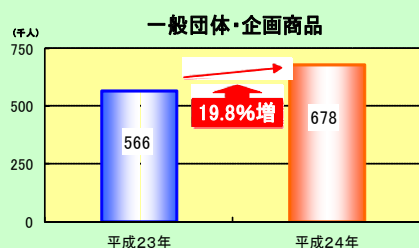
個人



団体



※ 参考「団体」の内訳

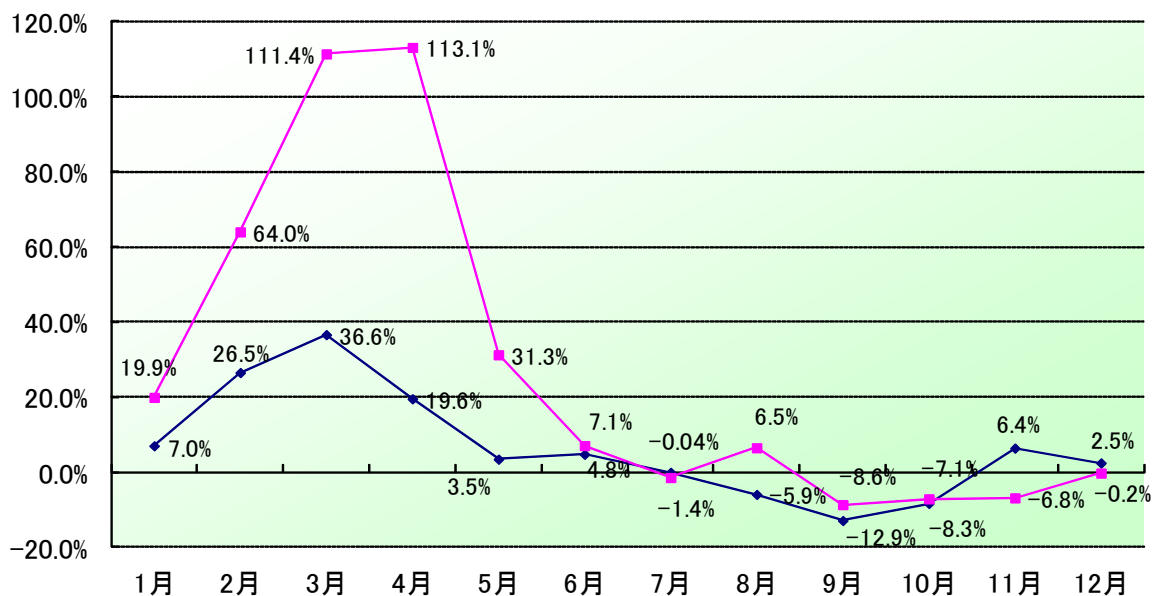


3 鹿児島県観光動向調査

(4) 月別旅行形態の動向

- ◆ 個人客(含む家族・小グループ)
- 団体客(15名以上)

(対前年同月比)



《個人客数》

(合計)

平成23年	111,837	90,339	117,269	119,361	156,963	103,257	137,534	217,582	147,146	146,348	146,032	128,319	1,621,987
平成24年	119,707	114,318	160,238	142,707	162,434	108,210	137,473	204,710	128,233	134,207	155,398	131,504	1,699,139

《団体客数》

(合計)

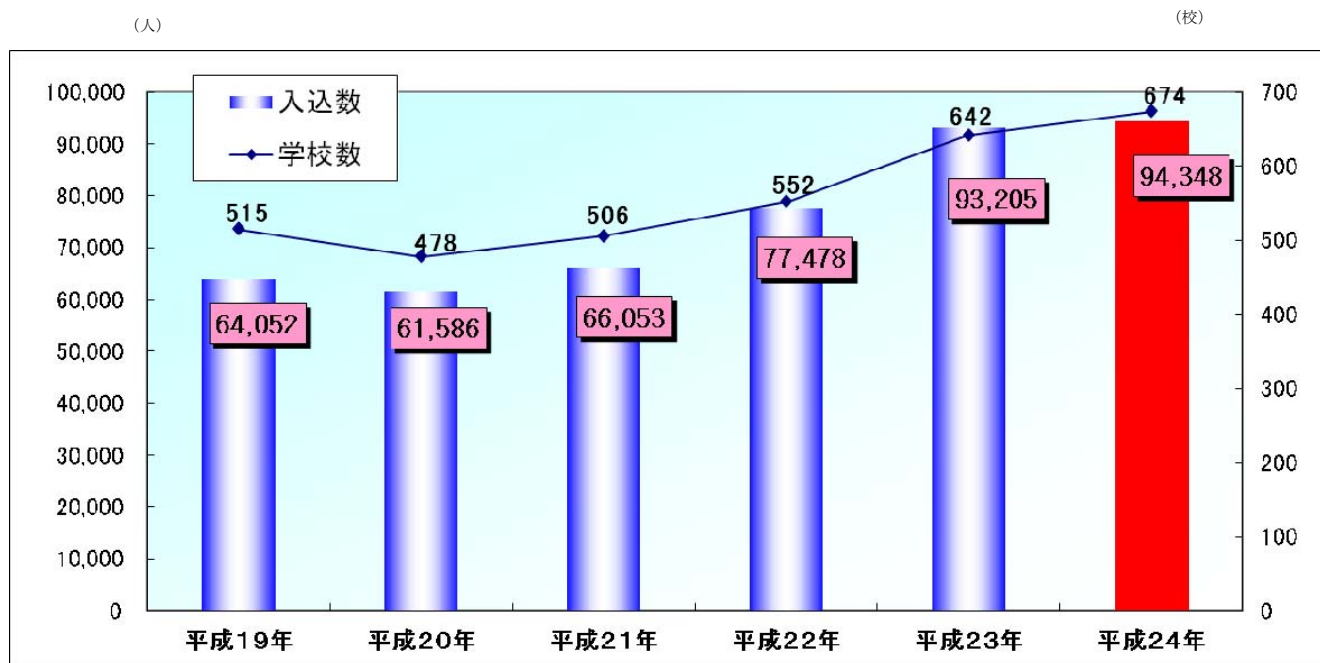
平成23年	42,331	40,923	39,835	33,619	55,469	55,240	50,852	51,404	62,432	95,414	104,329	53,499	685,347
平成24年	50,763	67,115	84,206	71,653	72,826	59,153	50,133	54,763	57,057	88,641	97,217	53,386	806,913

単位:人

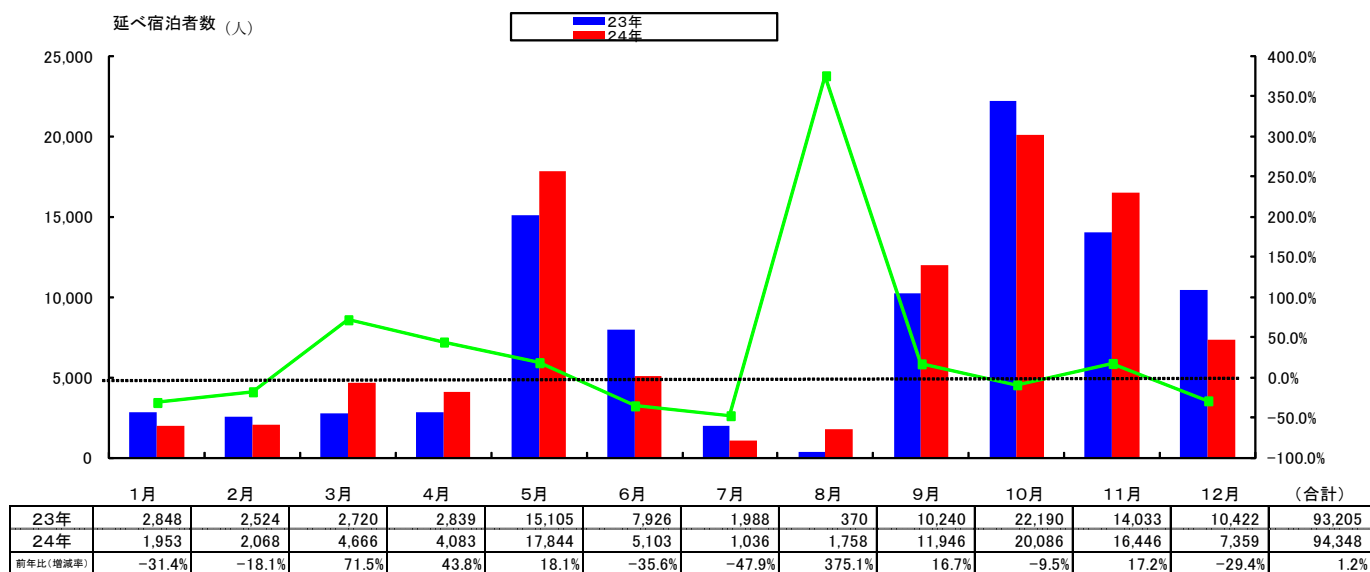
4 教育旅行の受入状況

出典：「平成24年鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

(1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況（推移）



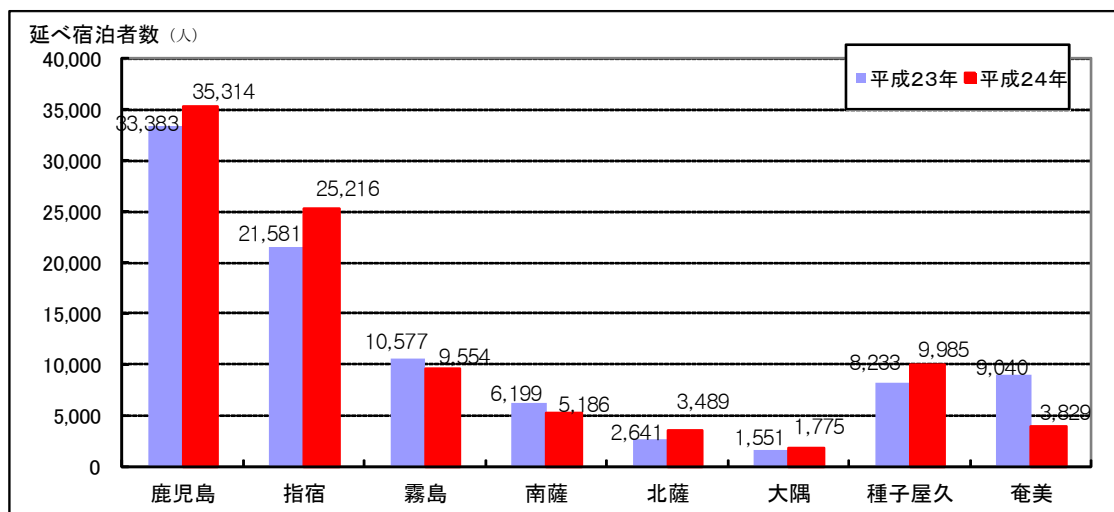
(2) 月別の教育旅行の受入状況（平成23年～24年）



単位：人

4 教育旅行の受入状況

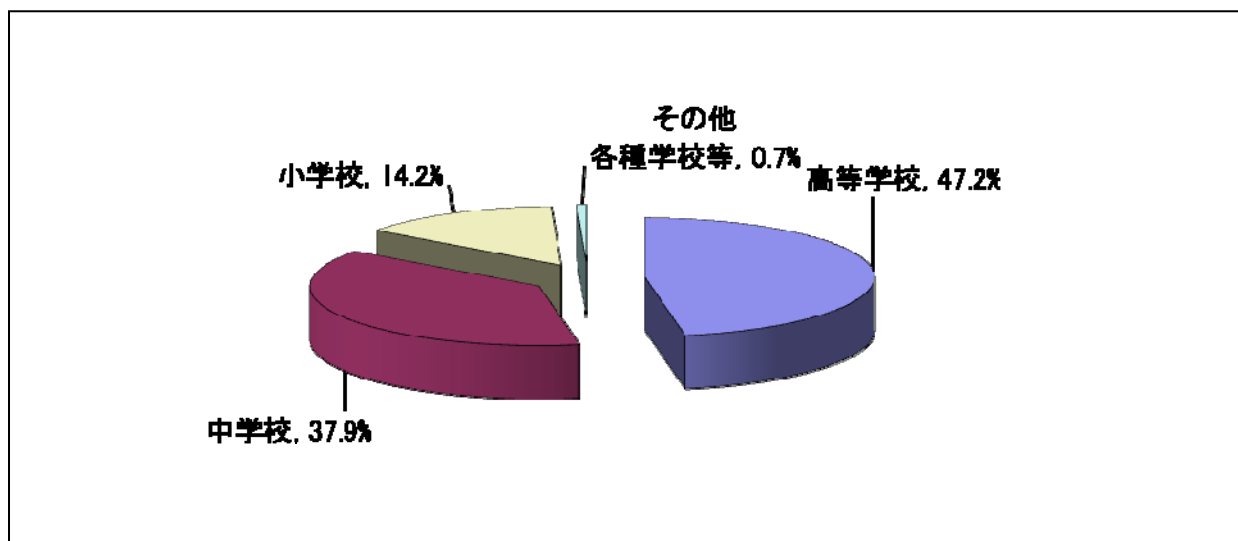
(3) 県内地区別の教育旅行の受入状況（平成23年～24年）



	鹿児島	指宿	霧島	南薩	北薩	大隅	種子屋久	奄美	合計
平成23年	33,383	21,581	10,577	6,199	2,641	1,551	8,233	9,040	93,205
平成24年	35,314	25,216	9,554	5,186	3,489	1,775	9,985	3,829	94,348
前年比(増減率)	5.8%	16.8%	-9.7%	-16.3%	32.1%	14.4%	21.3%	-57.6%	1.2%

単位：人

(4) 学校種別の構成比（平成24年）

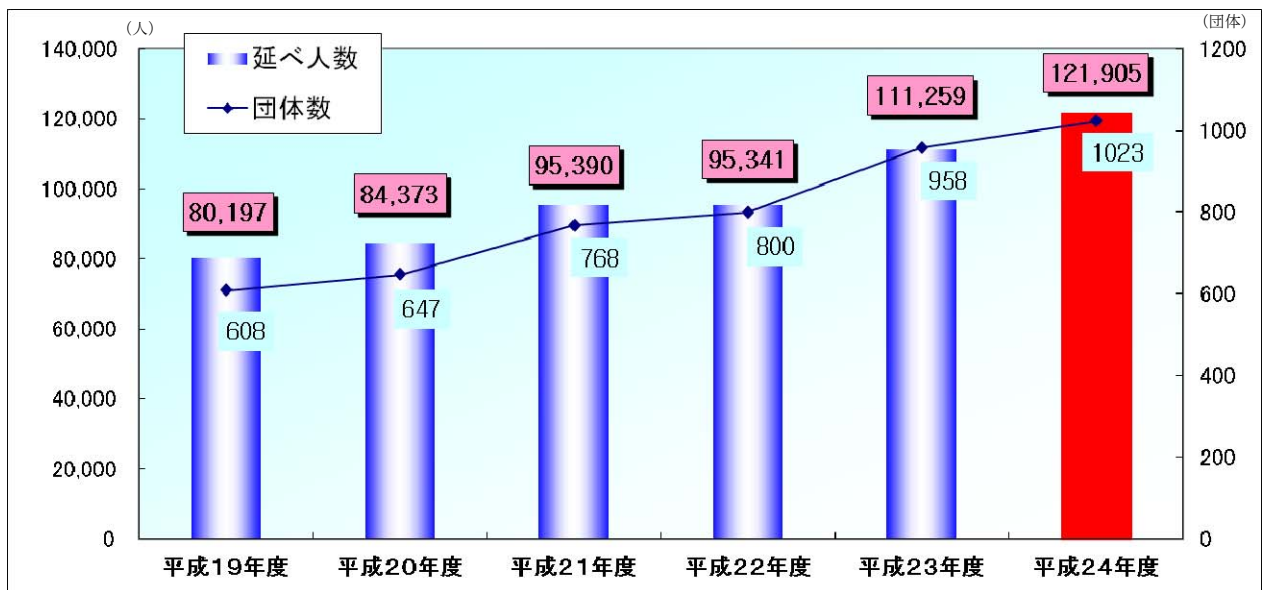


5 スポーツ合宿の受入状況

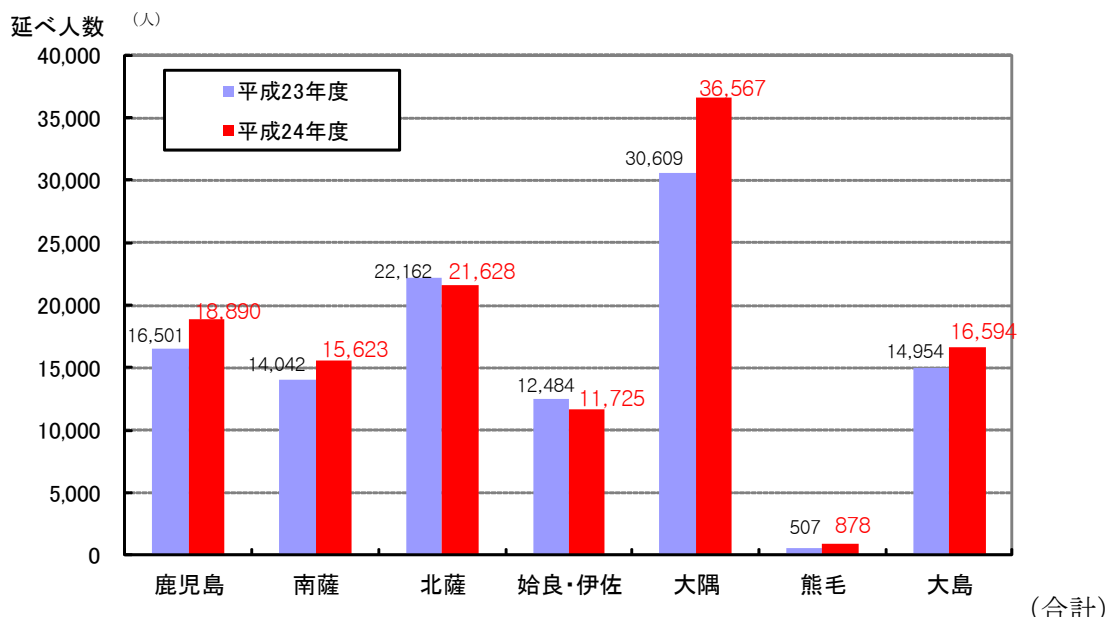
出典：「平成24年度スポーツキャンプ・合宿状況調査」

(1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況（推移）

	平成24年度	平成23年度	対前年度		備 考
			増減数	増減率	
団体数	1,023	958	65	6.8%	過去最高
参加人数(人)	25,659	24,999	660	2.6%	過去最高
延べ人数(人)	121,905	111,259	10,646	9.6%	過去最高



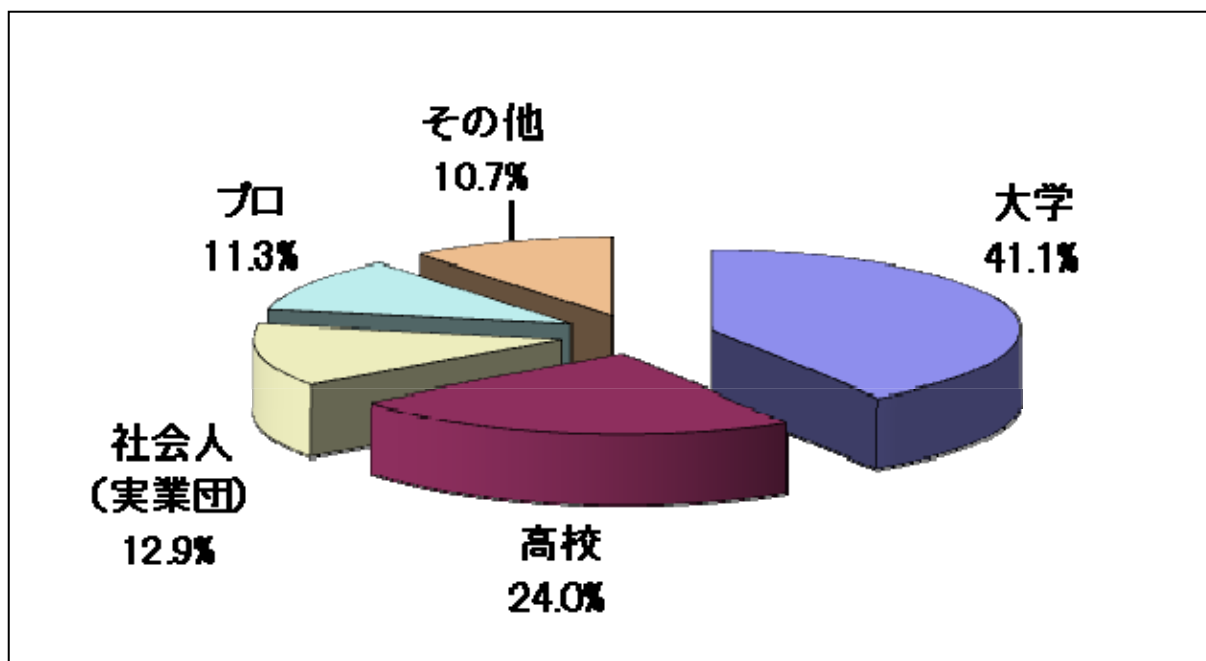
(2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況



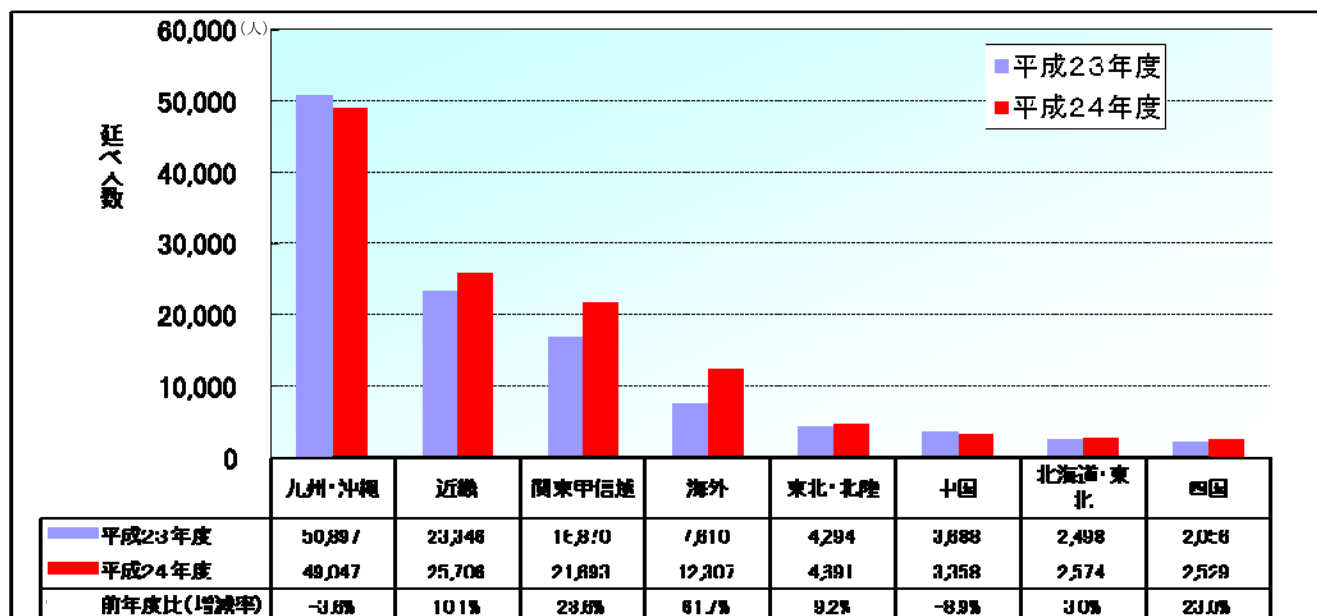
平成23年度	16,501	14,042	22,162	12,484	30,609	507	14,954	111,259
平成24年度	18,890	15,623	21,628	11,725	36,567	878	16,594	121,905
前年度比(増減率)	14.5%	11.3%	-2.4%	-6.1%	19.5%	73.2%	11.0%	9.6%

5 スポーツ合宿の受入状況

(3) 団体区分（カテゴリー）の状況

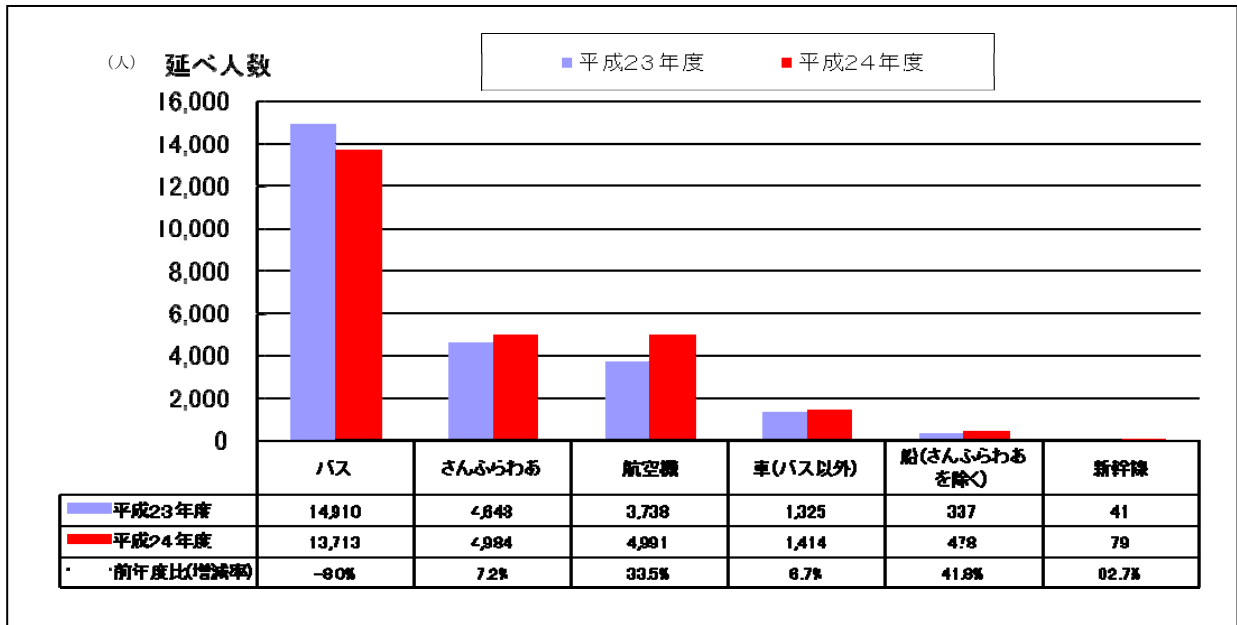


(4) 発地別の状況

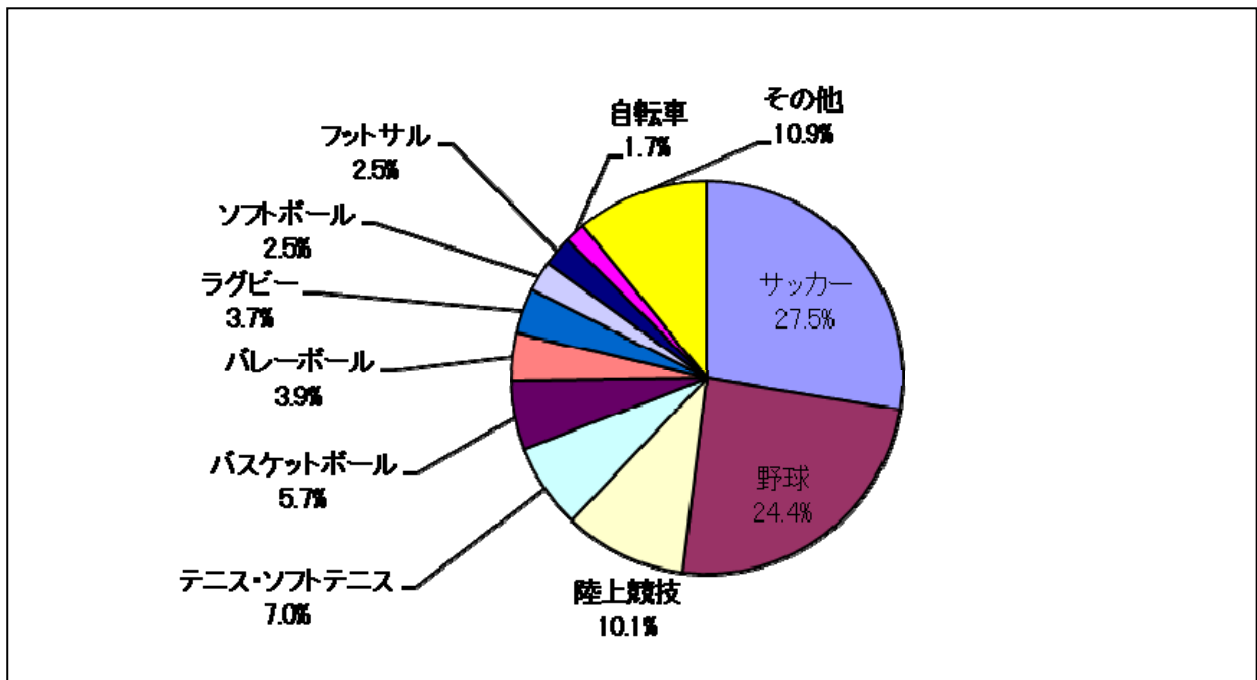


5 スポーツ合宿の受入状況

(5) 交通手段の状況



(6) 競技種目の状況



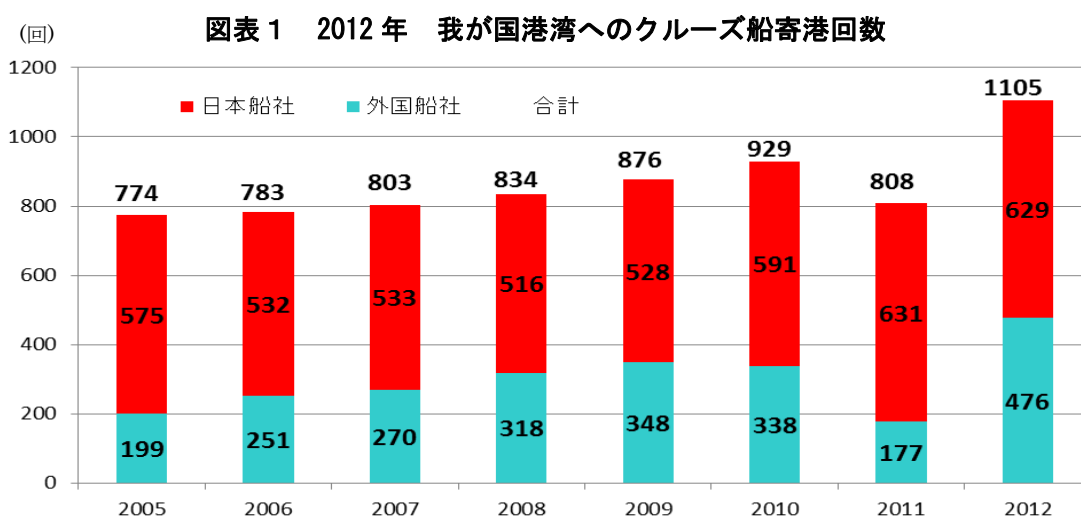
6 国際観光船受入状況

(1) 全国におけるクルーズ船の寄港状況 【出典：国土交通省港湾局】

2012年の我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数は、

- ・外国船社のクルーズ船476回
- ・日本船社のクルーズ船629回

合計1,105回（前年比約37%増）となった。



図表2 2012年 港湾別のクルーズ船寄港回数（上位10港）

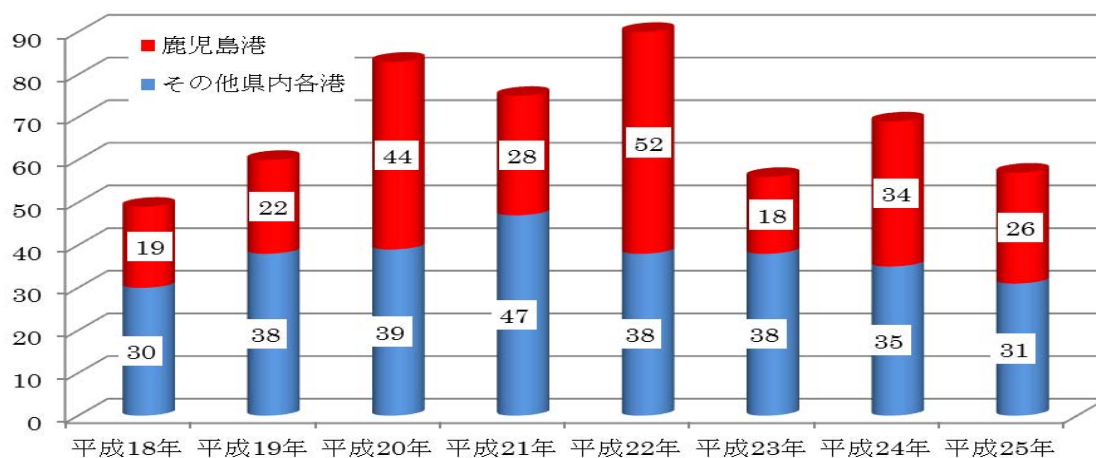
全体			外国船社			国内船社		
順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数
1	横浜	142	1	博多	85	1	横浜	116
2	博多	112	2	長崎	72	2	神戸	88
3	神戸	110	3	那覇	47	3	名古屋	38
4	長崎	73	4	石垣	46	4	二見(父島)	30
5	那覇	67	5	鹿児島	27	5	博多	27
6	石垣	52	6	横浜	26	6	東京	21
7	名古屋	43	7	別府(大分)	25	7	那覇	20
8	鹿児島	34	8	神戸	22	8	宮之浦(鹿児島)	15
8	別府(大分)	34	8	大阪	22	9	小樽	14
10	大阪	33	10	広島	14	10	大阪	11

図表3 2008～2012年 外国港湾別のクルーズ船寄港回数（上位5港）

順位	2008年		2009年		2010年		2011年		2012年	
	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	那覇	51	那覇	50	博多	61	石垣	42	博多	85
2	石垣	37	長崎	45	那覇	46	那覇	37	長崎	72
3	鹿児島	30	石垣	32	鹿児島	45	博多	26	那覇	47
4	長崎	25	博多	28	石垣	45	長崎	17	石垣	46
5	博多	25	鹿児島	22	長崎	39	横浜	9	鹿児島	27
			広島	22						
			神戸	22						

6 国際観光船受入状況

(2) 鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況 【出典：県港湾空港課調べ】



県内各港(計)	49	60	83	75	90	56	69	57
鹿児島港	19	22	44	28	52	18	34	26
志布志港				1				
指宿港						1		1
西之表港			2	4	2	2	1	
宮之浦港	20	26	22	26	25	23	15	17
名瀬港	6	4	5	11	4	4	9	7
その他	4	8	10	5	7	8	10	6

※H25年8月末時点見込み

【参考】外国船籍の大型クルーズ船の主な寄港予定

コスタ・アトランチカ
 (コスタ・クルーズ社, 本社:イタリア)
 全長:293m, 総トン数:85,619トン, 乗客定員:2,680人



サン・プリンセス
 (プリンセス・クルーズ社, 本社:アメリカ)
 全長:261m, 総トン数:77,441トン, 乗客定員:2,250人



(H25) 6回寄港予定

マリポートかごしま



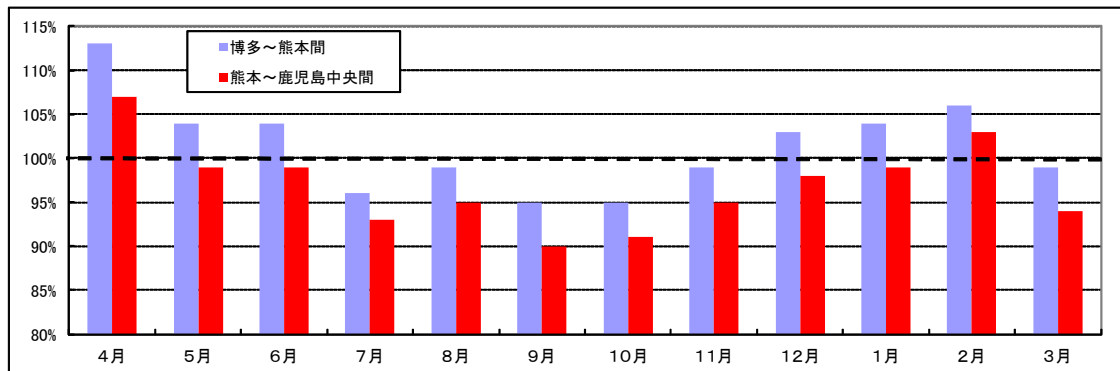
(H25) 3回寄港予定

7 九州新幹線の利用状況

出典：JR九州発表資料

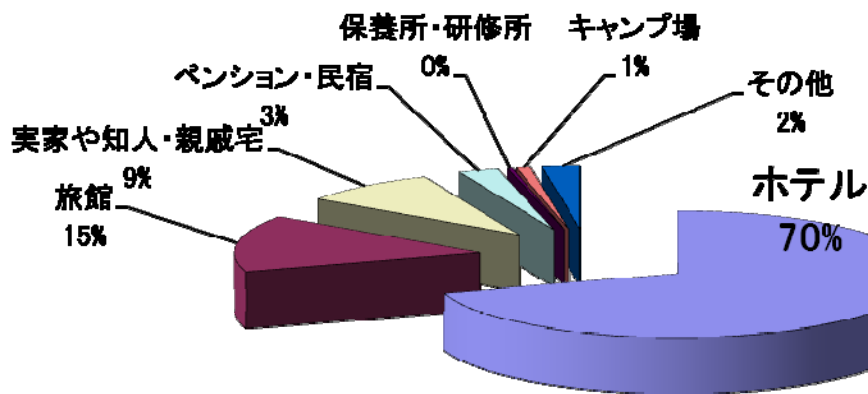
■ 利用実績（平成24年4月1日～平成25年3月11日）

・博多～熊本間	前年比 101%
・熊本～鹿児島中央間	前年比 97%



8 鹿児島における宿泊形態

出典：鹿児島県「観光入込客調査（パラメータ調査）」



※ 観光入込客調査（パラメータ調査）について

- ・県内の観光地点20地点において四半期ごとに年4回の休日1日に観光地点を訪れる観光客にアンケート調査を実施
- ・サンプル回収目標 1回 6,000 サンプル

本物。 鹿児島県

平成 24 年 鹿児島県の観光の動向
～鹿児島県観光統計～

発行 平成 25 年 10 月

編集・発行 鹿児島県観光交流局観光課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号

TEL 099-286-2997

FAX 099-286-5580

E-mail ksuishin@pref.kagoshima.lg.jp

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/>

[kanko-tokusan/kanko/kankotokei/](http://www.pref.kagoshima.jp/kanko-tokusan/kanko/kankotokei/)

観光かごしま

検索



かごしまPRキャラクター

ブリスー